

科目名	Basic English Reading I		科目ナンバリング	L-ESFU1-00. EE	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E50006		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>この授業では、平易な英語で書かれた作品を、文法事項と英語の音に注目しながら正確に読むことを目指します。中学校・高校で学んだ英語の知識を改めて確認するとともに、4年間の英語・英米文学科での英語の学びの基礎となる力を身につけて行きます。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの3に関連し、カリキュラムポリシーの3-1に関連している。</p>									
到達 目標	映画『ふしぎの国のアリス』の台本を通して、基本的な文法事項やフレーズを学んだり、英語のリズムに注意しながら発音の練習を行う。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	イントロダクション		授業の進め方の説明、予習・復習の仕方の説明							
第2回	Chapter 1 & Chapter 2		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第3回	Chapter 3 & Chapter 4		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第4回	Chapter 5 & Chapter 6		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第5回	Chapter 7 & Chapter 8		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第6回	Chapter 8 & Chapter 9		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第7回	前半の確認、まとめ		これまでの学習内容の重点ポイントの確認					テスト		
第8回	Chapter 10 & Chapter 11		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第9回	Chapter 12 & Chapter 13		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第10回	Chapter 14 & Chapter 15		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第11回	Chapter 16 & Chapter 17		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第12回	Chapter 18, Chapter 19 & Chapter 20		文法的な説明と発音の練習、 DVDを用いての視聴、聞き取り、発音模倣の練習					講義＋アクティブラーニング		
第13回	後半の確認、まとめ		これまでの学習内容の重点ポイントの確認					テスト		
第14回	発音実践		選択したシーンのパフォーマンス					グループアクティビティ		
第15回	発音実践		選択したシーンのパフォーマンス					グループアクティビティ		
評価 方法 及び 評価 基準	授業への参加態度 20点、テスト2回 各30点、パフォーマンス 20点									
課題 等	確認テストのための復習を兼ねた準備が必要です。確認テストが返却されたらさらに見直しを行ってください。発音練習のために、何度も聞き取りを行い、模倣する練習を行います。最終的にはグループで、好きなシーンを選んで演じてもらいます。									
事前 事後 学修	毎回の授業における読解のための予習を必要とします。準備時間の目安：3時間程度									
教材 教科書 参考書	プリント配布									
留意 点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	Basic English Reading II		科目ナンバリング	L-ESFU1-01.EE	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E50007		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 短いエッセイを読み練習問題を解きながら、主要な文法事項を確認していく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの3に関連し、カリキュラムポリシーの3-1に関連している。</p>									
到達 目標	2年次以降の専門科目の学習に必要な文法の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション Comfort Food		文型					反転学習		
第2回	The Hummingbird's Lesson		現在形・過去形					反転学習		
第3回	The Language of Colors		名詞・代名詞					反転学習		
第4回	Workig Animals		接続詞・前置詞					反転学習		
第5回	Learn to Listen		形容詞・副詞					反転学習		
第6回	The Healing Powre of Nature		助動詞					反転学習		
第7回	The Power of Love		動名詞					反転学習		
第8回	Animal Cafés		不定詞					反転学習		
第9回	Stand Up for Your Health		比較					反転学習		
第10回	Las Vegas:Fantasy World in the Desert		分詞					反転学習		
第11回	Changing Times, Changing Words		進行形・未来形					反転学習		
第12回	The Lady with the Blue Tatoo		完了形					反転学習		
第13回	The Refugee Crisis in Europe		関係代名詞・関係副詞					反転学習		
第14回	Natume Soseki is "Reborn"		態					反転学習		
第15回	The Power of Reading 試験		仮定法 試験					反転学習		
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、試験(60%)及び平常点評価(40%)。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	Good Reading, Better Grammar, Seibido (ISBN978-4-7919-3418-8)									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40									

科目名	英語学概論 A		科目ナンバリング	L-ESLA1-00. EEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E51000		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>英語学概論では、英語を様々な側面から分析する方法の基礎を学ぶ。英語学概論Aでは、英語の音について学ぶ。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	音声学、音韻論の基礎を理解する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	国際語としての英語			国際語としての英語の実態について学ぶ 英語学という研究領域について知る						
第2回	音声学			音声学という研究分野について学ぶ 言語音をつくる仕組みを実感する						
第3回	英語の子音 (1)			子音の調音の仕組みを学ぶ (調音点・調音法・有声/無声)						
第4回	英語の子音 (2)			子音表を読む 調音の仕組みに関する分析をする						
第5回	英語の母音 (1)			母音の調音の仕組みを学ぶ						
第6回	英語の母音 (2)			英語の母音の調音を学び、調音特性に基づく分析を行う						
第7回	自然音類 (1)			自然音類について学ぶ						
第8回	自然音類 (2)			音声学的分析を練習する				グループワーク		
第9回	音韻論			音韻論という研究分野について学ぶ						
第10回	音素 音素分析			音素、音素分析について学ぶ						
第11回	音韻過程 (1)			様々な音韻過程について学ぶ						
第12回	音韻過程 (2)			音韻過程を分析する						
第13回	音の構造 (1)			音の構造について学ぶ						
第14回	音の構造 (2)			音の構造の分析を練習する				グループワーク		
第15回	音声学研究/音韻的研究			音声学研究/音韻的研究について学ぶ						
評価 方法 及び 評価 基準	<p>レポート60%、発表20%、授業への取り組み20%</p> <p>音声学、音韻論の基礎を学ぶために授業で取り上げたことを理解できたかを評価する。提出物は授業内での課題も含む。</p>									
課題 等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事 後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問する。 復習および予習の学習時間の目安は週3時間程度。									
教材 教科書 参考書	ランゲージ・ファイル --英語学概論(オハイオ州立大学言語学科編) 筧壽雄、西光義弘、嶋村誠 編著 ISBN: 978-4-327-41055-1									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学概論B		科目ナンバリング	L-ESLA1-01. EEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E51001		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	齋藤 章吾				授業 形態	講義	単独
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語学概論では、英語を様々な側面から分析する方法の基礎を学ぶ。英語学概論Bでは、英語の語、文、意味について学ぶ。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	形態論、統語論、意味論の基礎を理解する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	形態論			形態論という研究分野について学ぶ						
第2回	形態素			形態素の種類について学ぶ						
第3回	語構造 (1)			日本語の語構造について学ぶ						
第4回	語構造 (2)			英語の語構造について学ぶ						
第5回	語形成過程			語形成過程について学ぶ						
第6回	語形成分析			様々な語形成を分析する					グループワーク	
第7回	統語論			統語論という研究分野について学ぶ						
第8回	統語論の基礎			統語論の基礎について学ぶ						
第9回	句構造規則			句構造規則について学ぶ						
第10回	構造に課せられる制約			変形について学ぶ						
第11回	構造分析			言語構造を分析する					グループワーク	
第12回	意味論			意味論という研究分野について学ぶ						
第13回	意味合成 (1)			形式意味論について学ぶ。						
第14回	意味合成 (2)			認知意味論について学ぶ						
第15回	英語の歴史			英語の歴史的変遷について学ぶ。						
評価方法及び評価基準	レポート60%、発表20%、授業への取り組み20% 形態論、統語論、意味論の基礎を学ぶために授業で取り上げたことを理解できたかを評価する。提出物は授業内での課題も含む。									
課題等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習および予習の学習時間の目安は週3時間程度。									
教材教科書参考書	ランゲージ・ファイル --英語学概論(オハイオ州立大学言語学科編) 笈壽雄、西光義弘、鳴村誠 編著 ISBN: 978-4-327-41055-1									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学原文講読		科目ナンバリング	L-ESLA2-20. E	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51024		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This class builds students' reading abilities via an overview of the English language. Through reading about the history of the English language, students will develop their academic reading skills. There will be a focus on group work and discussions to demonstrate understanding.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	Students will develop reading skills. They will learn how to read both for gist and in detail. Students will increase their academic vocabulary and understanding of English expressions. They will also learn how to summarize English texts.									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction to course		The instructor will introduce the course.							
第2回	A world language		Students will learn about how English has become a world language.					Group work		
第3回	The beginnings of English		Students will learn about the origins of the English language.					Discussion		
第4回	Old English		Students will learn about the early form of English.					Group work		
第5回	The Normans in England		Students will learn about the Norman influence on English.					Discussion		
第6回	Middle English		Students will learn about how English changed.					Group work		
第7回	Review and submit report		Material will be reviewed and students will submit their reports.					Discussion		
第8回	Modern English begins		Students will learn about the beginning of modern English.					Group work		
第9回	Bringing order to English		Students will learn about major developments in modern English.					Discussion		
第10回	Modern English grows		Students will learn about the expansion of modern English.					Group work		
第11回	English in the US		Students will learn about how English developed in the US.					Discussion		
第12回	All kinds of English		Students will learn about World English.					Group work		
第13回	Jargon and slang		Students will learn about English in slang and in specific industries.					Discussion		
第14回	The future of English		Students will learn about how English will continue to change in the future.					Group work		
第15回	Review and submission of final report.		Material will be reviewed and students will submit the final report.					Discussion		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Final Quiz: 40%</p> <p>Midterm Report: 25%</p> <p>Final report: 35%</p> <p>All work will be graded based on rubrics.</p>									
課題 等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前 事後 学修	Students are expected to read to prepare for class and do any extra reading that is assigned. Preparation along with review is expected to take up to 3 hours a week. All lectures are also online in Japanese and students may watch these to prepare.									
教材 教科書 参考書	<i>The History of the English Language</i> Brigit Viney (Oxford University Press) ISBN 978-0-19-423397-2									
留意 点	Attendance is required as students will be given extra reading assignments. This class has a lot of reading, if students are having trouble, they must consult the teacher.									

科目名	英語音声学		科目ナンバリング	L-ESLA2-21. UEN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B52005		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	内海 淳			授業 形態	講義	単独	
	教員免許・日本語教員	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 英語の発音に関わる基本的な事項である分節音、音節、強勢、イントネーションの仕組みを理解し、英語の正確な発音方法を具体的な事例を用いて学ぶ。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	英語を中心とした言語音の発音の仕組みを理解すると同時に、発音記号の正しい使い方も身につける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	音声学的視点とはなにか			音声学の基本的な枠組みについて理解する。音声分析ソフトPraatの使用法を理解する				反転学習 実習		
第2回	分節音			分節音の概念とその表記法について理解する				反転学習 実習		
第3回	調音器官			各調音器官について理解する				反転学習 実習		
第4回	五十音図の配列の意味			音声学的観点から日本語の五十音図の意味を理解する				反転学習 実習		
第5回	母音群			英語の基本的な母音について理解する。音声分析ソフトPraatを使い母音の波形を理解する				反転学習 実習		
第6回	子音群			英語の基本的な子音について理解する。音声分析ソフトPraatを使い子音の波形を理解する				反転学習 実習		
第7回	音節			英語と日本語の例を用いて、音節の概念について理解する				反転学習 実習		
第8回	音節主音的子音			音節主音的子音について理解する				反転学習 実習		
第9回	連結・同化・削除			音の連結・同化・削除について理解する				反転学習 実習		
第10回	強勢の位置			強勢の位置とその音声的な影響について理解する				反転学習 実習		
第11回	強形と弱形			冠詞などの強形・弱形について理解する				反転学習 実習		
第12回	イントネーション			イントネーションの構造について理解する				反転学習 実習		
第13回	リズム			英語のリズムについて理解する				反転学習 実習		
第14回	強勢衝突と強勢移動			強勢の移動の原理について理解する				反転学習 実習		
第15回	まとめ			これまでに学んだことを総括する				反転学習 実習		
評価 方法 及び 評価 基準	実際の発音の実践が必須であるため、出席時の活動評価を60%、記述試験を40%とする。出席時には、正しい発音方法を理解・獲得しているかどうかを確認し、筆記試験では、発音記号の意味を正確に理解しているかどうかを確認する問題を出題する。									
課題 等	なし。									
事前 事後 学修	事前学修：教材を熟読し、発音の練習を行う。事後学修：授業を振り返り、不明な点が理解できたか確認する。									
教材 教科書 参考書	服部範子「入門英語音声学」研究社 ISBN-13: 978-4327421892									
留意 点	毎回、実際に発音の実践が求められる。									

科目名	統語論 A		科目ナンバリング	L-ESLA2-24. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51008		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語の文がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	英語の構造の分析を通して統語論の基礎を身につける。授業で取り上げた現象について統語論的手法で分析し、説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			統語論という研究分野について学ぶ						
第2回	範疇			語の範疇を理解する						
第3回	範疇分析			文形成の規則を範疇に基づいて分析する						
第4回	言語構造 (1)			語の組み立てについて学ぶ (併合・構成素・階層性・構造関係)						
第5回	言語構造 (2)			語の組み立てについて学ぶ (主要部・補部・指定部・付加詞・Xバー理論)						
第6回	練習			句構造分析の練習する				グループワーク		
第7回	構成素テスト (1)			構成素テストを学ぶ(等位接続・置換)						
第8回	構成素テスト (2)			構成素テストを学ぶ(省略・移動)						
第9回	構造関係 (1)			極性認可に基づいて構造関係について学ぶ						
第10回	構造関係 (2)			照応形束縛に基づいて構造関係について学ぶ						
第11回	練習			構成素・構造関係の分析を練習する				グループワーク		
第12回	ゼロ構成素 (1)			ゼロ構成素について学ぶ(ゼロ主語)						
第13回	ゼロ構成素 (2)			ゼロ構成素について学ぶ(ゼロT)						
第14回	ゼロ構成素 (3)			ゼロ構成素について学ぶ(ゼロC)						
第15回	練習			ゼロ構成素を伴う構造の分析を練習する				グループワーク		
評価 方法 及び 評価 基準	試験60%、課題20%、授業への参加20% 授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたかを評価する。									
課題 等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前 事後 学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習及び予習の学習時間の目安は週1時間程度									
教材 教科書 参考書	参考書：『英語構文を分析する(上)』 金子義明、島越郎 著 ISBN: 978-4-7589-2286-9									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	統語論B		科目ナンバリング	L-ESLA2-25.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51009		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>英語の文がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	英語の構造の分析を通して統語論の基礎を身につける。授業で取り上げた現象について統語論的手法で分析し、説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	オリエンテーション			統語論という研究分野について学ぶ 基本的な構造分析を理解する						
第2回	変形操作としての移動			文形成に求められる移動操作について学ぶ						
第3回	主要部移動			主要部移動について学ぶ						
第4回	本動詞のみを含む文の派生			本動詞のみを含む文の派生について学ぶ Affix Hopping/Do挿入について学ぶ						
第5回	練習			主要部移動の分析を練習する				グループワーク		
第6回	wh移動			wh移動について学ぶ						
第7回	wh移動の移動箇所・移動プロセス			wh移動の移動箇所・移動プロセスについて学ぶ						
第8回	wh移動に課せられる制約			wh移動に課せられる制約について学ぶ						
第9回	Aバー移動について学ぶ			Aバー移動について学ぶ						
第10回	練習			Aバー移動の分析を練習する				グループワーク		
第11回	A移動			A移動について学ぶ						
第12回	動詞句内主語仮説			動詞句内主語仮説について学ぶ						
第13回	A移動の駆動と連続循環移動			A移動の駆動と連続循環移動について学ぶ						
第14回	A移動とAバー移動の違い			A移動とAバー移動の違いについて学ぶ						
第15回	練習			A移動の分析を練習する				グループワーク		
評価方法及び評価基準	<p>試験60%、課題20%、授業への参加20%</p> <p>統語論の基礎を学ぶために授業で取りあげた言語構造の分析を理解できたか、到達目標に向けて課題ができたかを評価する。</p>									
課題等	授業の内容に基づいて適宜課題を課す。課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。									
事前事後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習及び予習の学習時間の目安は週1時間程度									
教材教科書参考書	参考書：『英語構文を分析する(下)』 金子義明、島越郎 著 ISBN: 978-4-7589-2287-6									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	意味論 A		科目ナンバリング	L-ESLA2-26. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51010		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	【授業の主旨】 言語表現の意味がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。									
	到達 目標	形式意味論の基礎を身につける。基本的な英文の意味を分析できる。								
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	オリエンテーション		意味論という研究分野について学ぶ							
第2回	言語表現の意味		言語表現の形式的な意味（命題、個体、述語）について学ぶ							
第3回	命題論理 (1)		命題と演算子(¬、∧、∨)について学ぶ							
第4回	命題論理 (2)		論理演算に関する基本法則について学ぶ							
第5回	命題論理 (3)		含意/対偶/逆/裏、必要条件/十分条件/必要十分条件について学ぶ							
第6回	練習		命題論理に基づく分析を練習する						グループワーク	
第7回	述語論理 (1)		命題論理と述語論理の違いを学ぶ							
第8回	述語論理 (2)		演算子(∀、∃)との組み合わせについて学ぶ							
第9回	述語論理 (3)		作用域・束縛変項と自由変項について学ぶ							
第10回	練習		述語論理に基づく分析を練習する						グループワーク	
第11回	集合論 (1)		和集合、積集合、補集合について学ぶ							
第12回	集合論 (2)		集合論における関係(∈、⊆、⊂、⊄、⊅)について学ぶ							
第13回	モデル		モデル理論について学ぶ							
第14回	練習		モデル理論に基づく分析を練習する						グループワーク	
第15回	振り返り		前期の学習内容を振り返る							
評価 方法 及び 評価 基準	試験60%、提出物20%、授業での取り組み20% 形式意味論の基礎を理解し、簡単な文を分析できるかを評価する。提出物は授業内での課題も含む。									
課題 等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。課題は提出後返却する。									
事前 事後 学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習および予習の学習時間の目安は週1時間程度。									
教材 教科書 参考書	参考書：形式意味論入門 田中拓郎 著 ISBN: 978-4-7589-182201									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	意味論B		科目ナンバリング	L-ESLA2-27. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51011		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>言語表現の意味がどのように分析されるのかを学び、それらに関する理論を理解する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	形式意味論を利用して様々な構文の意味を分析できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	オリエンテーション			意味論という研究分野について学ぶ 意味論における基本的な分析を理解する						
第2回	タイプ理論 (1)			命題、個体、述語のタイプ理論的分析について学ぶ						
第3回	タイプ理論 (2)			意味合成について学ぶ						
第4回	ラムダ演算子とイオタ演算子			ラムダ演算子とイオタ演算子について学ぶ						
第5回	練習			タイプ理論に基づく意味合成の分析を練習する				グループワーク		
第6回	意味計算 (1)			Functional Applicationについて学ぶ						
第7回	意味計算 (2)			Predicate Modificationについて学ぶ						
第8回	意味計算 (3)			Traces and Pronouns Ruleについて学ぶ						
第9回	意味計算 (4)			Predicate Abstraction (Relative Clauses)について学ぶ						
第10回	練習			意味計算に基づく分析を練習する				グループワーク		
第11回	量子化 (1)			上位集合、部分集合間の推論関係、矛盾律、排中律について学ぶ						
第12回	量子化 (2)			タイプの不整合と義務的な数量詞繰り上げについて学ぶ						
第13回	量子化 (3)			多義性と義務的な数量詞繰り上げについて学ぶ						
第14回	練習			量化に関する分析を練習する				グループワーク		
第15回	振り返り			後期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	試験60%、提出物20%、授業での取り組み20% 形式意味論の基礎を理解し、簡単な文を分析できるかを評価する。提出物は授業内での課題も含む。									
課題等	課題の内容については講義を振り返りながら授業内で確認する。課題は提出後返却する。									
事前事後学修	授業で学んだことをもとに課題に取り組む。疑問点などあれば質問できるように準備する。 復習および予習の学習時間の目安は週3時間程度。									
教材教科書参考書	参考書：形式意味論入門 田中拓郎 著 ISBN: 978-4-7589-182201									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	言語習得A		科目ナンバリング	L-ESLA2-28. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E51012		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>ヒトの母語獲得について、先行研究に基づく観察と理論について学ぶ。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	母語習得についてどのようなことが研究されているか理解し、説明および考察できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			母語習得研究という研究分野について学ぶ						
第2回	言語音の習得			言語音の知覚・母語の音韻の習得について学ぶ						
第3回	言語の発声			語を発声するまでの過程を学ぶ						
第4回	語の習得(1)			分節化について学ぶ						
第5回	語の習得(2)			語意の理解について学ぶ						
第6回	語の習得(3)			語情報に基づく習得の特徴について学ぶ						
第7回	文の習得(1)			一語文、二語文、多語文について学ぶ						
第8回	文の習得(2)			助詞・語順等の規則の獲得について学ぶ						
第9回	文の習得(3)			複雑な構文の獲得について学ぶ						
第10回	文の習得(4)			規則の獲得過程について学ぶ						
第11回	言語入力(1)			言語入力の特徴について学ぶ				問題解決型学習		
第12回	言語入力(2)			肯定証拠・否定証拠について学ぶ				問題解決型学習		
第13回	言語習得理論(1)			普遍文法・パラメータに基づく言語習得理論について学ぶ						
第14回	言語習得理論(2)			用法基盤モデルについて学ぶ。						
第15回	振り返り			前期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	<p>試験60%、課題20%、授業への参加20%</p> <p>母語習得研究について授業で取り上げたことを理解できるか、また、その理解に基づいた考察ができるかを評価する。</p>									
課題等	学習事項に関してグループワークを通して理解を深める									
事前事後学修	予習復習を通して、学習内容について理解したり疑問点を考えたりして、授業内の活動に備える。									
教材教科書参考書	『ことばの習得 母語獲得と第二言語習得』 鈴木孝明、白畑知彦 著 ISBN: 978-4-87424-544-6									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	言語習得B		科目ナンバリング	L-ESLA2-29. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E51013		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾				授業 形態	講義	単独
	日本語教員	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>ヒトの第二言語習得について、先行研究に基づく観察と理論について学ぶ。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	第二言語習得についてどのようなことが研究されているのか理解し、説明および考察できる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			第二言語習得研究という研究分野について学ぶ						
第2回	第二言語習得に対する母語の影響			第二言語習得に対する母語の影響を学ぶ						
第3回	行動主義			行動主義理論と対照分析仮説を学ぶ						
第4回	誤り分析			誤り分析を学ぶ						
第5回	自然な習得順序と創造的構築仮説			自然な習得順序と創造的構築仮説を学ぶ						
第6回	第二言語習得と一般認知能力の関係			第二言語習得と一般認知能力の関係を学ぶ						
第7回	第二言語習得のインプット			第二言語習得のインプットについて学ぶ						
第8回	インプットと習得理論			インプットから言語習得の理論（普遍文法）について考える						
第9回	学習開始年齢			学習開始年齢と第二言語習得の関係について学ぶ						
第10回	学習者要因（1）			学習者要因（動機づけ）について学ぶ						
第11回	学習者要因（2）			学習者要因（個性/言語適正/知性・知能/学習スタイル）について学ぶ						
第12回	モニターモデル			モニターモデルについて学ぶ						
第13回	教室における第二言語習得（1）			インプット仮説/アウトプット仮説/インタラクション仮説/気づき仮説について学ぶ					問題解決型学習	
第14回	教室における第二言語習得（2）			指導に関する理論について学ぶ					問題解決型学習	
第15回	振り返り			前期の学習内容を振り返る						
評価方法及び評価基準	<p>試験60%、課題20%、授業への参加20%</p> <p>第二言語習得研究について授業で取り上げたことを理解できるか、また、その理解に基づいた考察ができるかを評価する。</p>									
課題等	学習事項に関してグループワークを通して理解を深める									
事前事後学修	予習復習を通して、学習内容について理解したり疑問点を考えたりして、授業内の活動に備える。									
教材教科書参考書	『ことばの習得 母語獲得と第二言語習得』 鈴木孝明、白畑知彦 著 ISBN: 978-4-87424-544-6									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習 I A (a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E51022		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	【授業の主旨】 言語学の研究論文を読むことを通して、言語学の研究課題や研究手法について学ぶ。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。									
	到達 目標	言語学研究、特に言語習得や統語論等の研究について理解し、その研究方法を学ぶ。								
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			授業の進め方を確認する						
第2回	研究の方法 (1)			仮説形成について学ぶ				グループワーク		
第3回	研究の方法 (2)			演繹法と帰納法について学ぶ				グループワーク		
第4回	論文の構成			論文の構成について学ぶ						
第5回	論文の読解 (1)			課題の論文を読解する				反転学習		
第6回	論文の読解 (2)			課題の論文を読解する				反転学習		
第7回	論文の読解 (3)			課題の論文を読解する				反転学習		
第8回	論文の読解 (4)			課題の論文を読解する				反転学習		
第9回	論文の読解 (5)			課題の論文を読解する				反転学習		
第10回	論文の読解 (6)			課題の論文を読解する				反転学習		
第11回	論文の読解 (7)			課題の論文を読解する				反転学習		
第12回	論文の読解 (8)			課題の論文を読解する				反転学習		
第13回	論文の読解 (9)			課題の論文を読解する				反転学習		
第14回	論文の読解 (10)			課題の論文を読解する				反転学習		
第15回	レポートの書き方			レポートの構成やフォーマットなどについて学ぶ。						
評価 方法 及び 評価 基準	発表20%、課題とレポート60%、授業への参加20% 言語学の研究の方法を学ぶために読む研究論文を理解できているか、それらを踏まえて自分でテーマを選び研究の手法を考 えることができているかを評価する。									
課題 等	授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。									
事前事 後学修	授業で学んだことを復習・整理しながら課題に取り組む。授業で取り上げる研究論文を読み、その内容について理解し、考え、疑問 に思う点などを準備し、授業の活動に備える。レポートを書くにあたっては、授業で学んだことを踏まえて、自分でテーマを決め関 連する文献を読みながら進める。									
教材 教科書 参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意 点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。 クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習 I A (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E51025		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in preparing to write their graduation thesis. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。									
	到達 目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students are given the tools needed to understand the fundamental connection between culture and language. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.								
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction and Orientation		Instructor explains course objectives. Students discuss the connection between culture and linguistics.					Introduction and Orientation		
第2回	What is language?		Students will learn about the connection between language, society, and culture.					Group discussions		
第3回	Language and Culture		Students will learn about the interconnections between language and culture.					Group discussions		
第4回	Language and Identity		Students will learn how language is connected to personal and social identity.					Group discussions		
第5回	Pronouns, Language change, and the Grammar Police		Students will learn about power differences and how language can reinforce them.					Group discussions		
第6回	Research methods discussion		Students will learn current research methods and understand how to find information needed for the presentations.					Group discussions		
第7回	Student presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Student Presentation		
第8回	Dirty Language		Students will learn about swearing and offensive language					Group discussions		
第9回	Derogation, toxicity, and power imbalance		Students will learn about how language can be used to injure.					Group discussions		
第10回	Student group presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Student Presentation		
第11回	Music as expression of identity		Students will learn how groups use music to expression themselves.					Group discussions		
第12回	Music and reclaiming identity		Students will learn how groups can us music to reclaim their linguistic identity.					Group discussions		
第13回	Student presentations		Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote					Group Presentation		
第14回	Cross-cultural discourse		Students will learn about how different cultures interact.					Group discussions		
第15回	Feedback and conclusions: Research paper due		Students will receive feedback on their work in the course.					Research Paper due		
評価 方法 及び 評価 基準	Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (7 pages long about a topic of culture and linguistics; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 20%									
課題 等	Missed assignments should be submitted as soon as possible: the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	Essentials of Linguistics, 2nd edition by Catherine Anderson; Bronwyn Bjorkman; Derek Denis; Julianne Doner; Margaret Grant; Nathan Sanders; and Ai Taniguchi. This textbook is free to download. The professor will explain how to obtain the textbook and provide additional reading assignments.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures.									

科目名	英語学演習 I B (a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-41. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E51023		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>言語学研究について、自らテーマを選んで調査する。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	言語学研究、特に言語習得や統語論等の研究について理解し、調査する。									
授 業 計 画										
回	主 題	授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修							備 考	
第1回	オリエンテーション	授業の進め方を確認する								
第2回	研究テーマ	研究テーマを決める								
第3回	研究資料の収集	研究資料の収集を行う								
第4回	発表資料の作成技術	発表資料の作成技術について学ぶ								
第5回	発表 (1)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第6回	発表 (2)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第7回	発表 (3)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第8回	発表 (4)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第9回	発表 (5)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第10回	発表 (6)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第11回	発表 (7)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第12回	発表 (8)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第13回	発表 (9)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第14回	発表 (10)	発表・質疑応答・議論							発表・議論	
第15回	レポート	研究テーマと発表内容をまとめる。								
評価方法及び評価基準	<p>レポート60%、発表20%、授業への参加20%</p> <p>自分の選んだテーマに関する先行研究を収集し、理解し、意見を持つことができているか、また、その意見が言語学的知識に基づいているか、論理的であるかなどを評価する。</p>									
課題等	授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。									
事前事後学修	自分のテーマに関連する文献を探したり読んだりして、各授業予定に合わせて学習を進める。授業外学習時間の目安は週3時間程度									
教材教科書参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意点	欠席6回以上で単位取得不可。遅刻3回で欠席1回と計算する。クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習 I B (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-41. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E51026		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in preparing to write their graduation thesis.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	<p>This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students are given the tools needed to understand the fundamental connection between culture and language. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students will learn about words and culture.				Group discussions		
第2回	Sociolinguistics and language change			Students will learn how language and society are connection and change.				Group discussions		
第3回	Sociolinguistic correlations: Place			Students will learn how the concept of place.				Group discussions		
第4回	Sociolinguistic correlations: Social status			Students will learn about social status and language.				Group discussions		
第5回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Presentations		
第6回	Sociolinguistic correlations: Gender			Students will learn about gender and language use.				Group discussions		
第7回	Sociolinguistic correlations: Ethnicity			Students will learn about the connection between language and ethnicity.				Group discussions		
第8回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Student Presentation		
第9回	Current issues: Native Speaker			Students will learn about the 'native speaker' problem.				Group discussions		
第10回	Current Issues: Authenticity			Students will learn about cultural authenticity.				Group discussions		
第11回	Student presentations			Students will make their presentations using PowerPoint or Keynote				Student Presentation		
第12回	Translating culture			Students will learn about the difficulties in translating culture.				Group discussions		
第13回	Student group research day: Research paper explanation			Students will research their final topic.				Group discussions		
第14回	Review of materials covered			Students will reviewed everything taught throughout the course and present their final reports.				Group Discussions		
第15回	Senior Thesis Poster Presentation			Students will learn about what is expected for their graduation thesis poster presentations				1月27日(予定)		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (10 pages long about a topic; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Participation in Senior Thesis presentation: 20%</p>									
課題 等	<p>Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.</p>									
事前 事後 学修	<p>Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.</p>									
教材 教科書 参考書	<p>Essentials of Linguistics, 2nd edition by Catherine Anderson; Bronwyn Bjorkman; Derek Denis; Julianne Doner; Margaret Grant; Nathan Sanders; and Ai Taniguchi. This textbook is free to download. The professor will explain how to obtain the textbook and provide additional reading assignments.</p>									
留意 点	<p>Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hiroasaki Gakuin University policies and procedures.</p>									

科目名	英語学演習Ⅱ A (a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-60. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E51018		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>自分で定めたテーマに関する先行研究を調査し、その先行研究を発展させたり批判したりしながら自身の研究を行う。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	自分が選んだ言語学関連の研究テーマに対する調査を行い、理解を深めたり自分の意見を持つことができる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			授業の進め方を確認する						
第2回	研究資料の収集			自分が選んだテーマを調べるための資料を収集する						
第3回	発表 (1)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第4回	発表 (2)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第5回	発表 (3)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第6回	発表 (4)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第7回	発表 (5)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第8回	発表 (6)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第9回	発表 (7)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第10回	発表 (8)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第11回	発表 (9)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第12回	発表 (10)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第13回	発表 (11)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第14回	発表 (12)			発表・質疑応答・議論				発表・議論		
第15回	まとめ			前期の学習内容についてまとめる						
評価方法及び評価基準	<p>レポート60%、発表20%、授業への取り組み20%</p> <p>研究テーマに対する調査を行い、十分な知識を蓄積した上で、自分の意見を持つことができているかを評価する。</p>									
課題等	授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。									
事前事後学修	自分が選んだ研究テーマに関連する文献を探したり読んだりして、発表準備やレポート作成を進める。									
教材教科書参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意点	クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習Ⅱ A (b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-60. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E51027		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and write research papers and their graduation thesis. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives and approaches to research and thesis writing.						
第2回	Review of research methods			Students will refresh their understanding of research methods through group discussions.				Group discussions		
第3回	Discussion of graduation research topics			Students will brainstorm their graduation research topics as a class to refine the topic of their graduation thesis.				Brainstorming Sheet		
第4回	Student research topic presentations			Students will present their graduation research topic to the class including the chapter topics they will explore.				Research paper outline due		
第5回	Student research plan presentations			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research plan presentation		
第6回	Finding appropriate resources			Students will discuss how to find quality resources to support their research papers.				Research Plan Update		
第7回	Student research presentations 1			Students will present an update to their research topic. Professor will provide format for resource list.				Research Plan Update		
第8回	Student research presentations 2			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Resource List due		
第9回	Student research presentations 3			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第10回	Student research presentations 4			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第11回	Research paper introduction writing			Students will learn what is required for the introduction of their research thesis, to include thesis statement writing.				Notetaking Update		
第12回	Student research presentations 5			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Thesis Statement Worksheet due		
第13回	Research paper chapter styles			Students will learn how to format the chapters in their research thesis.				Notetaking Update		
第14回	Graduation research status update			Students will present their research methods to include their ideas for chapter topics.				Research method Presentation		
第15回	Feedback and conclusions			Students will review their research progress thus far and make plans for future research.				Thesis Introduction due		
評価方法及び評価基準	Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 40%; Presentations (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric where appropriate): 30%, Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 30%									
課題等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures.									

科目名	英語学演習ⅡB(a)		科目ナンバリング	L-ESLA3-61.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E51019		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>自分で定めたテーマに関する先行研究を調査し、その先行研究を発展させたり批判したりしながら自身の研究を行う。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	自分が選んだ言語学関連の研究テーマに対する調査を行い、理解を深めたり自分の意見を持つことができる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			授業の進め方を確認する 研究資料を用いて議論したりしながら研究テーマを確定する						
第2回	発表準備 (1)			研究資料を整理し、発表の構成や形式等を考える。						
第3回	文献の発表 (1)			自身の研究テーマに関連する先行研究を簡潔に発表し、その内容について支持・批判・疑問など意見のやりとりをする				発表・議論		
第4回	発表準備 (2)			研究資料を整理し、発表の構成や形式等を考える						
第5回	文献の発表 (2)			自身の研究テーマに関連する先行研究を簡潔に発表し、その内容について支持・批判・疑問など意見のやりとりをする				発表・議論		
第6回	発表準備 (3)			研究資料を整理し、発表の構成や形式等を考える						
第7回	文献の発表 (3)			自身の研究テーマに関連する先行研究を簡潔に発表し、その内容について支持・批判・疑問など意見のやりとりをする				発表・議論		
第8回	発表準備 (4)			研究資料を整理し、発表の構成や形式等を考える						
第9回	文献の発表 (4)			自身の研究テーマに関連する先行研究を簡潔に発表し、その内容について支持・批判・疑問など意見のやりとりをする				発表・議論		
第10回	発表準備 (5)			研究資料を整理し、発表の構成や形式等を考える						
第11回	文献の発表 (5)			自身の研究テーマに関連する先行研究を簡潔に発表し、その内容について支持・批判・疑問など意見のやりとりをする				発表・議論		
第12回	振り返り			研究成果をもとに研究の過程や成果についてまとめる 研究の問題点についてまとめる						
第13回	研究成果の応用			研究成果がどのように応用されるのかを調べたり考えたりしながら、意見のやりとりをする						
第14回	研究過程や研究成果のまとめに対するピアチェック			研究の過程や成果を簡潔にまとめたものを生徒同士でチェックする						
第15回	まとめ			後期の学習内容についてまとめる						
評価 方法 及び 評価 基準	レポート60%、発表20%、授業への取り組み20% 研究テーマに対する調査を行い、十分な知識を蓄積した上で、自分の意見を持つことができているかを評価する。									
課題 等	授業の内容に基づいて、適宜課題を課す。課題については授業内で確認・フィードバックを行う。									
事前 事後 学修	自分が選んだ研究テーマに関連する文献を探したり読んだりして、発表準備やレポート作成を進める。									
教材 教科書 参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意 点	クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	英語学演習ⅡB(b)		科目ナンバリング	L-ESLA3-61.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E51028		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This seminar will provide students opportunities to explore the intersection of culture and linguistics through research, discussion, and presentation. The goal is to support students in finishing writing their graduation thesis.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達 目標	<p>This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to culture and linguistics. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction and Orientation		Instructor explains course objectives and reviews approaches to research and thesis writing discussed in spring semester.					First Draft of Research Paper		
第2回	Student research topic presentations		Students will present an update of their graduation research to the class including the chapters they are exploring.					Research Progress Presentation		
第3回	Student research presentations 1		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第4回	Student research presentations 2		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第5回	Student research presentations 3		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第6回	Research paper conclusion writing		Students will learn how to write a conclusion to the research paper to be included in the second draft of their paper.					Research Status Update		
第7回	Student research presentations 4		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第8回	Student research presentations 5		Students will present their second draft of their paper and explain their plans for continued research with the class.					Second Draft of Research Paper		
第9回	Student research presentations 6		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第10回	Research paper Works Cited list		Students will review how to draft a properly formatted Works Cited list and practice in-text citations.					Research Status Update		
第11回	Student research presentations 8		Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.					Research Status Update		
第12回	Research paper submission		Students will submit their final research paper.					Research Paper		
第13回	Oral interview explanation and practice		Students will learn how to do an oral interview and practice presenting their research paper.					Research Paper Summary due		
第14回	Academic Poster Creation		Students will learn about & create a poster about their graduation research for the English Dept. Poster Pres.					Group discussions		
第15回	Feedback and conclusions		Students will discuss what they learned from their research and thesis writing with the class.					Poster Presentation		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>Presentations and Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 50%; Research poster presentation (will be graded on information and English language accuracy according to a rubric) and participation in the English Department Graduation Thesis poster presentation session: 20%; Homework, classroom participation: 20%; Research summary (graded on content and English language accuracy according to rubric): 10%.</p>									
課題 等	Teamsにより適宜指示します。レポート課題はTeamsにより提出する									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures.									

科目名	欧米文学・文化概論 A		科目ナンバリング	L-ESL11-00. EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E53022		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>イギリスの文化に関するいくつかのキーワードをとりあげて、様々な角度から論じ、理解を深めていく。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	2年次以降の専門科目の学習に必要なイギリスの文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。イギリスの文化についてキーワードを手掛かりにして、詳しく調べて、ペーパーにまとめて、発表する力を身につける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			発表担当者の割り当て						
第2回	辞典			O. E. D. の歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第3回	聖書			英訳聖書の歴史。『天路歷程』を読む。					プレゼンテーション	
第4回	ジェントルマン			ジェントルマンの歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第5回	ダンディズム			ダンディズムの歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第6回	ビートルズ			ビートルズの歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第7回	パブリック・スクール			ブリック・スクールの歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第8回	スポーツ			イギリス生まれのスポーツについて。学生の発表。					プレゼンテーション	
第9回	シェイクスピア(1)			シェイクスピアの生涯。					プレゼンテーション	
第10回	シェイクスピア(2)			『ロミオとジュリエット』を読む。					プレゼンテーション	
第11回	庭園			イギリスの庭園の歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第12回	大英博物館			大英博物館の歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第13回	紅茶とコーヒー			紅茶とコーヒーの歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第14回	鉄道			鉄道の歴史。学生の発表。					プレゼンテーション	
第15回	まとめ			授業の総括						
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	下卓他編著『イギリス文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）（ISBN978-4-623-05436-7）									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	欧米文学・文化概論B		科目ナンバリング	L-ESL11-01.EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E53023		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 この授業ではイギリスの文化的アイデンティティを考えるうえでのキーワードに焦点を当てながら、様々な側面からイギリス文化を見て行きます。3年、4年次において関心のあるテーマを見つけ深めていくための土台となるように、文化・文学に対してできるだけ広範な視野を身につけることを目指します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	文化とは何か、どのような視点から考察できるのかを理解する。文学作品や映画を文化的事象の表現形態として捉え鑑賞できるようにする。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	イントロダクション		授業の進め方と授業に関する留意点についての説明 次回の授業のための予習					ガイダンス		
第2回	カルチャーの定義・アイデンティティの定義		カルチャーとは何か？ アイデンティティとは何か？					ディスカッション・解説		
第3回	風土と伝統 (1)		イギリスの国の成り立ちについて					グループ発表・解説		
第4回	風土と伝統 (2)		原典を楽しむ					読解・解説		
第5回	王室と宗教 (1)		王室の宗教的変遷について					グループ発表・解説		
第6回	王室と宗教 (2)		原典を楽しむ					読解・解説		
第7回	貴族の城館と庭園 (1)		カントリー・ハウスの誕生と盛衰					グループ発表・解説		
第8回	貴族の城館と庭園 (2)		原典を楽しむ					読解・解説		
第9回	われら役者は影法師 (1)		中世から19世紀までの劇場と俳優					グループ発表・解説		
第10回	われら役者は影法師 (2)		原典を楽しむ					読解・解説		
第11回	子どもへのまなざし		<子ども>の文化史					グループ発表・解説		
第12回	ジェントルマンのたしなみ		イギリスの教育					グループ発表・解説		
第13回	問いかける女性たち (1)		<天使>たちの旅路					グループ発表・解説		
第14回	問いかける女性たち (2)		原典を楽しむ					読解・解説		
第15回	英語世界の万華鏡・まとめ		ゲルマン部族語から世界語へ					解説・まとめ		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度 20%、グループ発表 30%、レポート課題 50% キーワードをしっかりと捉え、理解しているかを図ります。									
課題等	グループ発表のための準備、最終レポート課題									
事前事後学修	原典講読予習、グループ発表の準備、レポート作成のための学習等を含めて週3時間以上									
教材教科書参考書	『概説 イギリス文化史』、ミネルヴァ書房、2020年 ISBN978-4-623-03564-9									
留意点	なし									

科目名	イギリス原文講読		科目ナンバリング	L-ESL12-20. EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53024		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 この授業では、1年次に学習した英語の基礎的知識を踏まえて、より複雑な英文を読む練習をします。3年、4年次におけるレポートや論文作成の際に必要なとなる英語文献の読解に役立つような力を身につけていきます。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	より専門分野に近い英語文献をしっかりと読解し、理解できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	Introduction		授業の流れ、内容の説明、次週の授業の予習						ガイダンス	
第2回	The Unreliable Narrator 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第3回	The Unreliable Narrator 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第4回	The Unreliable Narrator 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Kazuo Ishiguroの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第5回	The Reader in the Text 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Laurence Sterneの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第6回	The Reader in the Text 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Laurence Sterneの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第7回	The Reader in the Text 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Laurence Sterneの小説論を取り上げて精読・解説、予習・復習						講義・解説/ディスカッション	
第8回	第2回から第7回までのまとめ		これまでのまとめと復習・確認テスト						テスト	
第9回	The Stream of Consciousness 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第10回	The Stream of Consciousness 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第11回	The Stream of Consciousness 3		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、Virginia Woolf論を取り上げて精読・解説、予習・復習						講義・解説/ディスカッション	
第12回	Teenage Scaz 1		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、サリンジャー論を取り上げて精読・解説、予習・復習						演習・解説	
第13回	Teenage Scaz 2		David Lodgeの小説論 <i>The Art of Fiction</i> の中から、サリンジャー論を取り上げて精読・解説、復習						講義・解説/ディスカッション	
第14回	第9回から第13回までのまとめ		これまでのまとめと復習・確認テスト						テスト	
第15回	まとめ		2回のテストのフィードバック、総復習						解説	
評価方法及び評価基準	授業への参加態度20%、試験80% (40%×2) 英文を正確に捉え、しっかりと理解できているかを図ります。									
課題等	確認のための試験を2回行いますが、最後の時間に採点して返却します。									
事前事後学修	毎回の授業での読解の予習・復習、2回の試験のための学習などで週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	David Lodge, <i>The Art of Fiction</i> , ed. by Norio Uchida and Katsuaki Watanabe (EIHOSHA, 1996) ISBN4-269-23063-0									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	アメリカ原文講読		科目ナンバリング	L-ESL12-21.EE	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53025		30時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	[授業の主旨]									
	シャーウッド・アンダソンの「森の中の死」を精読する [ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項] ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。									
到達 目標	卒業論文の執筆の際に役立つような文献の読解力を身につける。英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国、地域の文化について理解する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			発表担当の割り当て						
第2回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第3回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第4回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第5回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第6回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第7回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第8回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第9回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第10回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第11回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第12回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第13回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第14回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
第15回	「森の中の死」を精読する			分担を決めて精読していく					反転学習	
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	Sherwood Anderson, <i>Death in the Woods & Other Stories</i> (南雲堂) (978-4-523-00101-0)									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40									

科目名	イギリス文学史 A		科目ナンバリング	L-ESL11-02. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E52054		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 文学作品を通して、その作品が書かれた時代の文化や歴史を知ることができます。この授業では、イギリス文学の流れを時代ごとに追っていき、代表的な作品を紹介します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	イギリス文学の歴史についての大まかな流れを理解し、どのような文化的・歴史的な背景があるのかを把握する。英語の歴史の変遷および国際共通語としての英語の実態についての理解も促す。□									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	イントロダクション			授業の進め方についての説明				ガイダンス		
第2回	古英語・中英語文学 (1)			歴史的な背景				講義・解説		
第3回	古英語・中英語文学 (2)			古英語・中英語文学のアウトライン、代表的な作品				講義・解説/ディスカッション		
第4回	16世紀の文学 (1)			歴史的な背景				講義・解説		
第5回	16世紀の文学 (2)			16世紀の文学のアウトライン、代表的な作品・作家 次回授業のための予習時間60分				講義・解説		
第6回	16世紀の文学 (3)			Shakespeareの作品の抜粋を読む				講義・解説/ディスカッション		
第7回	17世紀の文学 (1)			歴史的な背景				講義・解説		
第8回	17世紀の文学 (2)			17世紀の文学のアウトライン、代表的な作家				講義・解説/ディスカッション		
第9回	18世紀の文学 (1)			歴史的な背景				講義・解説		
第10回	18世紀の文学 (2)			18世紀の文学のアウトライン（散文）、代表的な作家				講義・解説		
第11回	18世紀の文学 (3)			18世紀の文学のアウトライン（詩）、代表的な作家				講義・解説/ディスカッション		
第12回	ロマン主義の時代 (1)			歴史的な背景				講義・解説		
第13回	ロマン主義の時代 (2)			ロマン主義の文学のアウトライン、代表的な作家、作品 次回授業のための予習				講義・解説		
第14回	ロマン主義の時代 (3)			ロマン主義詩人の作品の抜粋を読む				講義・解説/ディスカッション		
第15回	まとめ			これまでの内容に関する質問・復習				講義・解説		
評価方法及び評価基準	授業に対する学習意欲・態度10%、レポート2回およびその推敲（45点×2、90%）で、総合評価100%を出します。									
課題等	作品を読む際には、事前の予習が必要です。予習時間目安：60分以上、2回のレポートでは、それぞれ初稿と推敲を行ってもらいます。初稿に対するフィードバックをもとに、修正稿を提出してもらいます。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	イギリス文学史B		科目ナンバリング	L-ESL11-03. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E52055		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	川浪 亜弥子				授業 形態	講義	単独
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 文学作品を通して、その作品が書かれた時代の文化や歴史を知ることができます。この授業では、イギリス文学の流れを時代ごとに追っていき、代表的な作品を紹介します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	イギリス文学の歴史についての大まかな流れを理解し、どのような文化的・歴史的な背景があるのかを把握する。英語の歴史の変遷および国際共通語としての英語の実態について理解も促す。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	イントロダクション			授業の進め方についての説明					ガイダンス	
第2回	ヴィクトリア時代 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第3回	ヴィクトリア時代 (2)			ヴィクトリア時代の文学のアウトライン、小説、ロマンスの概念					講義・解説	
第4回	ヴィクトリア時代 (3)			ヴィクトリア時代の文学の代表的な作家、作品 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第5回	ヴィクトリア時代 (4)			ヴィクトリア時代の文学の代表的な作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第6回	20世紀前半の文学 (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第7回	20世紀前半の文学 (2)			20世紀前半の文学のアウトライン、代表的な作家、作品 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第8回	20世紀前半の文学 (3)			20世紀前半の文学の代表的な作品の抜粋を読む					講義・解説/ディスカッション	
第9回	20世紀後半から現代まで (1)			歴史的な背景					講義・解説	
第10回	20世紀後半から現代まで (2)			20世紀後半から現代に至る文学のアウトライン、代表的な作家、作品 (1)					講義・解説	
第11回	20世紀後半から現代まで (3)			20世紀後半から現代に至る文学のアウトライン、代表的な作家、作品 (2) 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第12回	20世紀後半から現代まで (4)			代表的な作品の抜粋を読む (1) 次回の授業のための予習時間60分					講義・解説	
第13回	20世紀後半から現代まで (5)			代表的な作品の抜粋を読む (2)					講義・解説/ディスカッション	
第14回	まとめ			これまでの内容に対する質問・復習					講義・解説	
第15回	フィードバック			これまでのレポートのフィードバックを行う					講義・解説	
評価方法及び評価基準	授業に対する学習意欲・態度10%、レポート2回およびその推敲(45点×2、90%)で、総合評価100%を出します。									
課題等	作品を読む際には、事前の予習が必要です。予習時間目安：60分、2回のレポートでは、それぞれ初稿と推敲を行っていただきます。初稿に対するフィードバックをもとに、修正稿を提出してまいります。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	アメリカ文学史 A		科目ナンバリング	L-ESL11-04. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	E52056		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
	教員免許	必修								
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 アメリカ文学の主要な作品を原文で読みながら、作品の背後にあるアメリカ文化について学んでいく。サリンジャーからテネシー・ウィリアムズあたりまでを扱う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	2年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修					備考	
第1回	アメリカ文化の特質について			亀井俊介のアメリカ文化論を読む。						
第2回	サリンジャーの小説について			『キャッチャー・イン・ザ・ライ』を原文で読む。					反転学習	
第3回	カポーティとマッカーズ			二人の南部作家の作品を原文で読む。					反転学習	
第4回	マラマッドの小説について			『アシスタント』を原文で読む。					反転学習	
第5回	ライトの小説について			『ブラック・ボーイ』を原文で読む。					反転学習	
第6回	ミッチェルの小説について			『風と共に去りぬ』を原文で読む。					反転学習	
第7回	スタインベックとサローヤン			『怒りのぶどう』と『我が名はアラム』を原文で読む。					反転学習	
第8回	フォークナーの小説について(1)			『熊』を原文で読む。					反転学習	
第9回	フォークナーの小説について(2)			『熊』を原文で読む。					反転学習	
第10回	ヘミングウェイの小説について(1)			『武器よさらば』を原文で読む。					反転学習	
第11回	ヘミングウェイの小説について(2)			『老人と海』を原文で読む。					反転学習	
第12回	フィッツジェラルドの小説について			『グレート・ギャツビー』を原文で読む。					反転学習	
第13回	T. ウィリアムズの作品について			『欲望という名の電車』を原文で読む。					反転学習	
第14回	アメリカの現代詩について			W. C. ウィリアムズ等の現代詩を原文で読む。					反転学習	
第15回	まとめ			授業の総括						
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート(60%)及び平常点評価(40%)。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	『アメリカ文学史』(成美堂)(ISBN4-7919-3400-8) 参考書として『アメリカ名詩選』(岩波文庫)(ISBN4-00-323351-4)									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40									

科目名	アメリカ文学史B		科目ナンバリング	L-ESL11-05. UE	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	E52057		30時間				
区分	専門教育科目	選択	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 アメリカ文学の主要な作品を原文で読みながら、作品の背後にあるアメリカ文化について学んでいく。アンダソンからフランクリンあたりまでを扱う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	2年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	アンダソンの小説について			「森の中の死」を原文で読む。				反転学習		
第2回	ドライサーの小説について			『アメリカの悲劇』を原文で読む。				反転学習		
第3回	ロンドンの小説について			『野生の呼び声』を原文で読む。				反転学習		
第4回	ピアスの作品について			『悪魔の事典』を原文で読む。				反転学習		
第5回	ジェイズの小説について			『デージー・ミラー』を原文で読む。				反転学習		
第6回	クレメンズの小説について(1)			『ハックルベリー・フィンの冒険』を原文で読む。				反転学習		
第7回	クレメンズの小説について(2)			『ハックルベリー・フィンの冒険』を原文で読む。				反転学習		
第8回	ホイットマンとディキンソン			二人の詩人の詩を原文で読む。				反転学習		
第9回	メルヴィルの小説について			『白鯨』を原文で読む。				反転学習		
第10回	ホーソーンの小説について			『緋文字』を原文で読む。				反転学習		
第11回	エマソンの作品について			『自然論』を原文で読む。				反転学習		
第12回	ソローの作品について			『森の生活』を原文で読む。				反転学習		
第13回	ポーの小説について			「アッシャー家の崩壊」を原文で読む。				反転学習		
第14回	フランクリンの自伝について			『自叙伝』を原文で読む。				反転学習		
第15回	まとめ			授業の総括						
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題等	課題は次時間に返却する。									
事前事後学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材教科書参考書	『アメリカ文学史』（成美堂）（ISBN4-7919-3400-8） 参考書として『アメリカ名詩選』（岩波文庫）（ISBN4-00-323351-4）									
留意点	453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40									

科目名	Shakespeare in Performance		科目ナンバリング	L-ESL12-22. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53026		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 Shakespeareはイギリスを代表する詩人・劇作家です。この授業では、Shakespeareが活躍した時代背景を踏まえながら、<i>Romeo and Juliet</i>及び<i>Macbeth</i>の映像作品を鑑賞します。その後、この2作品におけるモチーフを考えながらいくつかのシーンを考察し、さらには実際に演じてみることを目指します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	Shakespeareの作品を通して、イギリス文化の一考察を行う。シェイクスピアの作品を観たり、実際に演じてみることで、英語のリズムや英語での感情表現を学ぶ。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	Shakespeareの時代・演劇			シェイクスピアの時代・演劇についての文化的考察と現代との比較				解説		
第3回	<i>Romeo and Juliet</i> 鑑賞 1			<i>Romeo and Juliet</i> を観る				鑑賞		
第4回	<i>Romeo and Juliet</i> 鑑賞 2			<i>Romeo and Juliet</i> を観る				鑑賞		
第5回	<i>Macbeth</i> 鑑賞 1			<i>Macbeth</i> を観る				鑑賞		
第6回	<i>Macbeth</i> 鑑賞 2			<i>Macbeth</i> を観る				解説と読解		
第7回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 1			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第8回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 2			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第9回	<i>Romeo and Juliet</i> , <i>Macbeth</i> のモチーフやイメージ 3			モチーフやイメージに注目しながら場面分析を行う				解説と読解		
第10回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第11回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第12回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第13回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第14回	<i>Romeo and Juliet</i> のパフォーマンス			分析したシーンの演技				パフォーマンス		
第15回	Summary			全体のまとめ、演技の振り返り				まとめ		
評価方法及び評価基準	パフォーマンス50%、参加態度50% Shakespeareの作品をいろいろな角度から見ることで、イギリスの文化について多角的な見方ができるようになっているかをはかる。実際に演じることで、英語の発音や表現の力がついているかをはかる。									
課題等	場面のテキストの読み込み、暗記、感情を込めた演技が求められ、演技の成果は記録する予定です。最後に成果を視聴することで、みんなで振り返ります。									
事前事後学修	テキストの読み込み、暗記などで週あたりの学習時間約3時間									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	特になし									

科目名	Comparative Literature		科目ナンバリング	L-ESL12-23. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53027		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 アメリカの2つの短編小説(カポーティの「誕生日の子供たち」とマッカーズの「悲しき酒場の唄」)を読み比較しながら、構造上の共通点を理解する。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	3年次以降の専門科目の学習に必要なアメリカの文学、文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	オリエンテーション			発表割り当て						
第2回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第3回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第4回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第5回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第6回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第7回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第8回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第9回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第10回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第11回	「悲しき酒場の唄」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第12回	「誕生日の子供たち」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第13回	「誕生日の子供たち」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第14回	「誕生日の子供たち」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
第15回	「誕生日の子供たち」を速読する			作品の速読				ディスカッション		
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	Carson McCullers, The Ballad of the Sad Café(南雲堂) (978-4-523-03615-9)									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40									

科目名	Interpretation/ Translation		科目ナンバリング	L-ESLI2-24. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53028		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>In this course, students will learn about and practice basic techniques for spoken interpretation and written translation from English to Japanese and from Japanese to English.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	<p>The first half of the course will review basic techniques for spoken interpretation. Students will practice interpreting from English to Japanese and Japanese to English. The second half of the course will review written translation. Students will learn the basic techniques and practice translating English texts into Japanese and Japanese texts into English.</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Course Orientation			Instructor explains course objectives; review of differences between interpretation and translation and different styles.				Write & Memorize Self-Intro		
第2回	Basic Interpretation Skills			Students will learn and practice basic interpretation skills using pair work.				Prepare Talk about Hometown		
第3回	Basic Interpretation Practice			Students will learn and practice basic interpretation of common topics in pairs and groups.				Practice Interpreting		
第4回	Consecutive Interpretation			Students will learn and practice consecutive interpretation of common conversation topics in pairs and groups.				Self-Reflection		
第5回	Consecutive Interpretation Practice			Students will learn and practice consecutive interpretation of common conversation topics in pairs and groups.				Practice Interpreting		
第6回	Consecutive Interpretation Practice			Students will practice more complex consecutive interpretation skills in pairs and groups.				Self-Reflection		
第7回	Interpretation Pitfalls to Avoid			Students will learn about pitfalls to avoid when doing interpretation and have discussions about common challenges.				Prepare for Examination		
第8回	Interpretation Examination			Students will perform a spoken interpretation examination (E to J & J to E) with the professor about given topics.				Oral Examination		
第9回	Basic Translation Skills			Students will learn and practice basic translation skills. Technology tools to support translation will be explained.				Practice using technology tools		
第10回	Translating English to Japanese			Students will discuss and practice translating from English to Japanese with partners and in small groups.				Practice Translations		
第11回	Translating English to Japanese			Students will discuss and practice translating from English to Japanese with partners and in small groups.				Practice Translations		
第12回	Translating Japanese to English			Students will discuss and practice translating from Japanese to English with partners and in small groups.				Practice Translations		
第13回	Translating Japanese to English			Students will discuss and practice translating from Japanese to English with partners and in small groups.				Practice Translations		
第14回	Working as a translator; Translation Pitfalls to Avoid			Students will learn about working as a translator; then discuss pitfalls to avoid in interpretation and translating.				Prepare for Examination		
第15回	Translation Examination			Students will take a written translation examination.				Written examination		
評価 方法 及び 評価 基準	Homework and classroom participation: 30%; Interpretation Exam (content & language accuracy graded using a rubric): 30%; Translation Exam (content & language accuracy graded using a rubric): 40%.									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	Cultural Studies A		科目ナンバリング	L-ESL12-25. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53029		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>[授業の主旨]</p> <p>イギリス美術の歴史を概観する</p> <p>[ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項]</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	3年次以降の専門科目の学習に必要なイギリスの文化の基礎知識を理解し説明できるようになる。プレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			発表割り当て						
第2回	I知られざるイギリス美術			学生の発表					プレゼンテーション	
第3回	II宗教改革とその波紋			学生の発表					プレゼンテーション	
第4回	III人間への飽くなき関心			学生の発表					プレゼンテーション	
第5回	III人間への飽くなき関心			学生の発表					プレゼンテーション	
第6回	IV日常性の中の物語			学生の発表					プレゼンテーション	
第7回	IV日常性の中の物語			学生の発表					プレゼンテーション	
第8回	V詩は絵のごとくに			学生の発表					プレゼンテーション	
第9回	V詩は絵のごとくに			学生の発表					プレゼンテーション	
第10回	VI緑なす快き国イギリスに			学生の発表					プレゼンテーション	
第11回	VII音楽をめざす絵画			学生の発表					プレゼンテーション	
第12回	VII音楽をめざす絵画			学生の発表					プレゼンテーション	
第13回	VIII生活のための芸術			学生の発表					プレゼンテーション	
第14回	VIII生活のための芸術			学生の発表					プレゼンテーション	
第15回	まとめ			授業の総括						
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	高橋裕子 『イギリス美術』 岩波新書（ISBN4-00-430555-1）									
留意 点	453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	Cultural Studies B		科目ナンバリング	L-ESL12-26.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	E53030		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>芸術作品は現実を映し出し表現することにおいて様々な模索を行ってきました。その様々な試みにおける社会的、歴史的、倫理的な背景を顧慮しながら、いくつかの文学作品や絵画作品、及び映画作品を見て行きます。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	現実と芸術作品の様々な関係に対する深い理解を持つことを目指します。□									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	Introduction		授業の流れ、内容の説明、次週の授業の予習					ガイダンス		
第2回	ミメーシスという概念		芸樹において重要な要素であるミメーシスという概念について学びます。復習・予習について指示する。					解説・演習		
第3回	ミメーシスという概念と反芸術主義		プラトンの芸術論について学びます。復習・予習を指示する。					解説・演習		
第4回	ミメーシスとフィクション 1		現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。					解説・演習		
第5回	ミメーシスとフィクション 2		現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。					解説・演習		
第6回	ミメーシスとフィクション 3		現実の模倣の観点から、様々なフィクションを考えます。復習・予習を指示する。					解説・演習/ ディスカッション		
第7回	まとめ		これまでの内容に関する質問・復習					レポート		
第8回	メタフィクションとポストモダニズム 1		ポストモダニズムの動きを背景としたメタフィクションの芸術形態を考えます。復習・予習を指示する。					解説・演習		
第9回	メタフィクションとポストモダニズム 2		ポストモダニズムの動きを背景としたメタフィクションの芸術形態を考えます。復習・予習を指示する。					解説・演習/ ディスカッション		
第10回	メタフィクションとポストモダニズム 3		John Fowles, <i>The French Lieutenant's Woman</i> の鑑賞					鑑賞		
第11回	メタフィクションとポストモダニズム 4		John Fowles, <i>The French Lieutenant's Woman</i> の鑑賞					鑑賞		
第12回	メタフィクションとポストモダニズム 5		Baz Luhrmann監督映画 <i>William Shakespeare's Romeo + Juliet</i> の鑑賞					鑑賞		
第13回	メタフィクションとポストモダニズム 6		Baz Luhrmann監督映画 <i>William Shakespeare's Romeo + Juliet</i> の鑑賞					鑑賞		
第14回	メタフィクションとポストモダニズム 7		映画について、ポストモダニズム、メタフィクションの観点からの分析を行います。復習・予習を指示する。					解説・演習/ ディスカッション		
第15回	まとめ		これまでの内容に関する質問・復習					レポート		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度30%、レポート70%(一回目35%、二回目35%) 芸術作品の現実との関わり方、フィクションの歴史、メタフィクションの背景、特徴を理解しているかを図ります。									
課題等	毎回の授業で、考察・分析ポイントを示した質問を提示するので、あらかじめ考えて来てもらいたい。 また、2回のレポート提出を課すが、最後にコメントを付して返却する。									
事前事後学修	予習・復習時間、レポート作成などのために週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	Cultural Studies C		科目ナンバリング	L-ESL12-27. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53031		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	【授業の主旨】 This course explores a variety of world cultures by discussing a different country's culture each week. Students will improve their English while expanding their knowledge of world societies and cultures. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。									
	到達目標	This course uses videos and textbook articles to learn the important parts of a variety of world cultures in the major global regions of Central and Southeast Asia, Europe, the Middle East, Africa, and South America. Students will compare Japanese culture with various global cultures to better understand Japanese culture and be able to discuss intercultural differences in English.								
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Course Orientation and teacher introduction			Instructor explains course objectives. Students discuss what they know about world cultures in groups				Group discussions		
第2回	India			Students will learn about Indian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Indian culture				Group discussions		
第3回	Philippines			Students will learn about Philippine culture through videos and discussions of differences between Japanese and Philippine culture				Group discussions		
第4回	Thailand			Students will learn about Thai culture through videos and discussions of differences between Japanese and Thai culture				Group discussions		
第5回	Vietnam			Students will learn about Vietnamese culture through videos and discussions of differences between Japanese and Vietnamese culture				Group discussions		
第6回	France			Students will learn about French culture through videos and discussions of differences between Japanese and French culture				Group discussions		
第7回	Italy			Students will learn about Italian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Italian culture				Group discussions		
第8回	Midterm Exam Presentations			Students will do a presentation about an Asian or European country not discussed in the textbook				Presentation		
第9回	Denmark			Students will learn about Danish culture through videos and discussions of differences between Japanese and Danish culture				Group discussions		
第10回	Turkey			Students will learn about Turkish culture through videos and discussions of differences between Japanese and Turkish culture				Group discussions		
第11回	Egypt			Students will learn about Egyptian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Egyptian culture				Group discussions		
第12回	South Africa			Students will learn about South African culture through videos and discussions of differences between Japanese and South African culture				Group discussions		
第13回	Brazil			Students will learn about Brazilian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Brazilian culture				Group discussions		
第14回	Peru			Students will learn about Peruvian culture through videos and discussions of differences between Japanese and Peruvian culture				Group discussions		
第15回	Final Exam Review and Presentations			Students will do a presentation about an African or South American country not discussed in the textbook				Presentation		
評価方法及び評価基準	Participation / Homework: 30%; Student presentations and written summaries (graded on content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): 70% (2 presentations = 35% each).									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	<i>World Adventures</i> (ISBN: 978-4-7647-3907-9) by Berlin and Kobayashi.									
留意点	Attendance is required to improve fluency in English and to pass this course. Students should try not to miss too many classes. Students missing a Student Project Presentation day may result in a failing grade for the presentation.									

科目名	Cultural Studies E		科目ナンバリング	L-ESL12-29. SN	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	E53033		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
	日本語教員	選択必修								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 人気の高いディズニーの映画を題材に、現代社会の諸問題 (<i>race, ethnicity, gender, sexuality</i> etc.) を考える。特に、現代アメリカ社会、ディズニー作品に興味のある人に向いている。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	中級程度の英文を正確に読解できるようになること、また自分の考えを表明できるようになること。									
授 業 計 画										
回	主 題	授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修							備 考	
第1回	<i>Disney Films</i> を<読む>	授業の進め方								
第2回	<i>Progressive Era Protagonists</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第3回	<i>Honor Through Heterosexuality</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第4回	<i>Reflecting on the Self</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第5回	<i>Making a Man</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第6回	<i>Performing Meerkat and Warthog</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第7回	" <i>Hakuna Matata</i> "	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第8回	" <i>Hakuna Matata</i> "②	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第9回	" <i>Carnivores!Oy!</i> "	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第10回	<i>Mean Ladies</i>	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第11回	<i>Mean Ladies</i> ②	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第12回	<i>Mean Ladies</i> ③	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第13回	<i>Mean Ladies</i> ④	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第14回	<i>Mean Ladies</i> ⑤	講読、問題提起							プレゼンテーション &ディスカッション	
第15回	まとめ	全体のまとめ								
評価方法及び評価基準	授業への参加度 (50%)、小テスト (英文和訳) および期末テスト (50%)。テストはともに文法理解、日本語表現の適切さの観点から採点される。									
課題等	小テストは実施翌週に返却。									
事前事後学修	授業の前に該当範囲を必ず一読しておくこと。3時間程度必要。									
教材教科書参考書	<i>Disney Films and Secret Messages</i> (Johnson Cheu編、英宝社2000円、ISBN978-4-269-11008-3)									
留意点	英語は中級レベル。									

科目名	欧米文学・文化演習 I A		科目ナンバリング	L-ESL13-40. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53034		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 各自の興味に応じてアメリカ文化について、文献を集め、発表原稿を作成し、口頭発表をする。口頭発表の技術を身につける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	発表者はプレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。また、発表を聴く側は、発表に対して妥当な質問が出来るような力が身に付く。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			発表担当の割当。						
第2回	暴力--アメリカ史の裏側			(8)「暴力--アメリカ史の裏側--」について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第3回	エリス島			(14)「エリス島」について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第4回	モンスター			(18)モンスターについて学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第5回	遊園地			(22)「遊園地」について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第6回	鉄道			(26)鉄道について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第7回	スーパーマーケット			(30)スーパーマーケットについて学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第8回	アメリカ大統領			(33)アメリカ大統領について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第9回	人種差別			(35)人種差別について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第10回	通信販売システム			(37)通信販売システムについて学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第11回	国立公園			(42)国立公園について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第12回	動物			(44)動物について学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第13回	ジャズとヒップホップ			(49)ジャズとヒップホップについて学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第14回	ハリウッド			(55)ハリウッドについて学ぶ。学生の発表。					プレゼンテーション	
第15回	まとめ			授業の総括						
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題等	課題は次時間に返却する。									
事前事後学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材教科書参考書	笹田直人他編著『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）（ISBN978-4-623-06771-8）									
留意点	スーツを着用し参加すること。453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	欧米文学・文化演習 I B		科目ナンバリング	L-ESL13-41.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53035		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 各自の興味に応じてアメリカ文化について、文献を集め、発表原稿を作成し、口頭発表をする。口頭発表の技術を身につける。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>発表者はプレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。また、発表を聴く側は、発表に対して妥当な質問が出来るような力が身に付く。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	学生の口頭発表			口頭発表(1回目)						
第2回	学生の口頭発表			口頭発表(2回目)						
第3回	学生の口頭発表			口頭発表(3回目)						
第4回	学生の口頭発表			口頭発表(4回目)						
第5回	学生の口頭発表			口頭発表(5回目)						
第6回	学生の口頭発表			口頭発表(6回目)						
第7回	学生の口頭発表			口頭発表(7回目)						
第8回	学生の口頭発表			口頭発表(8回目)						
第9回	学生の口頭発表			口頭発表(9回目)						
第10回	学生の口頭発表			口頭発表(10回目)						
第11回	学生の口頭発表			口頭発表(11回目)						
第12回	学生の口頭発表			口頭発表(12回目)						
第13回	学生の口頭発表			口頭発表(13回目)						
第14回	学生の口頭発表			口頭発表(14回目)						
第15回	学生の口頭発表			口頭発表(15回目)						
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席者につき、レポート(60%)及び平常点評価(40%)。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題等	課題は次時間に返却する。									
事前事後学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材教科書参考書	笹田直人他編著『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）(ISBN978-4-623-06771-8)									
留意点	スーツを着用し参加すること。453研究室 オフィスアワー：木11:10~12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	欧米文学・文化演習 I C		科目ナンバリング	L-ESL13-42. SE	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53036		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 Students will explore western cultural ideas and differences through research, discussion, and presentation. The goal is to deepen students' understanding of western culture and to help them find research topics for their Senior-year graduation thesis. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics. Students may also participate in intercultural collaborations.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students discuss ideas of culture and traditions in the West.				Group discussions		
第2回	Research methods discussion			Students will learn current research methods and understand how to find information needed for the presentations.				Group discussions		
第3回	Topic exploration and choices			Students will learn how to find research topics for the presentations and papers required in this course.				Pair work about reseach topics		
第4回	Comparing cultures in movies			Students will explore how culture is presented in Western / Japanese movies and discuss different perspectives.				Paper on movie impressions		
第5回	Spring & Summer Holidays			Students will explore Western spring and summer holidays and how they compare with Japan's.				Group discussions		
第6回	Student presentations about Western Holidays			Students share information about a Western holiday of their choice.				Student Presentation		
第7回	Wedding customs - June brides			Students will learn about Western wedding customs and compare them with their knowledge of Japanese traditions.				Presentation Summary Due		
第8回	Student presentations about Western Weddings			Student groups share information about Western weddings in a country of their choice.				Student Presentation		
第9回	Ethnic groups and minority issues			Students will discuss Japanese population demographics and learn about different ethnic and minority groups in Western countries.				Presentation Summary Due		
第10回	LGBTQ History and Issues			Students will learn about LGBTQ history and current issues. Related topics will be discussed in groups.				Group discussions		
第11回	Current LGBTQ Issues			Students will learn about current issues facing the LGBTQ population. Related topics will be discussed in groups.				Group discussions		
第12回	Student group presentations about Western Minorities			Student groups share information about a Western minority of their choice. Final Research paper will be explained.				Group Poster Presentation		
第13回	American Summertime activities			Students will discuss Japanese summer activities in groups and learn about summertime activities in America.				Presentation Summary Due		
第14回	American BBQ Culture			Students will have an American-style BBQ party after cooking typical American BBQ foods and doing common BBQ activities.				Experiential learning		
第15回	English Camp Participation			Students must participate in HiroGaku's English Camp for their final class.				Research Paper due by end of semeseter		
評価方法及び評価基準	Student presentations (graded on content, English accuracy, and presentation style using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (7 pages long about a topic of Western Culture; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Homework, classroom, collaboration participation, and English Department cultural event participation: 20%									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams. Students may participate in an intercultural collaboration, so a smartphone and computer are required.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	欧米文学・文化演習 I D		科目ナンバリング	L-ESL13-43. SE	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53037		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
	教員免許	必修								
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 Students will explore western cultural ideas and differences through research, discussion, and presentation. The goal is to deepen students' understanding of western culture and to help them find research topics for their Senior-year graduation thesis. 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	This course gives students the chance to research and explore a wide variety of topics related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics. Students may also participate in intercultural collaborations.									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives. Students discuss information learned in spring semester in groups.				Group discussions		
第2回	Summer strut - music culture			Students will discuss what they know about music and learn about Western music culture and the roots of music styles.				Group discussions		
第3回	Student presentations about Western Music			Students share information about a Western music style of their choice.				Student Presentation		
第4回	Harvest festivals & Halloween			Students will discuss Japanese autumn events and learn about American harvest festivals and Halloween activities in groups.				Presentation Summary Due		
第5回	Student presentations about Western Harvest Festivals			Student groups share information about a Western Harvest Festival of their choice.				Group Presentation		
第6回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.				Presentation Summary Due		
第7回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.				Group discussions		
第8回	World Religions			Students will learn about religions around the world and discuss religious histories and cultural differences.				Group discussions		
第9回	Poster presentation preparation			Students will research a western religion and prepare a poster to use in a poster presentation.				Group discussions		
第10回	Student poster presentations about World Religions			Students share information about a World Religion creating a poster to be posted for public viewing.				Poster Presentation		
第11回	Western cooking experience			Students will experience cooking traditional Western meal appropriate to the season. Final Research paper explained.				Experiential learning		
第12回	Western year-end holiday celebrations			Students will learn about Western end-of-year holiday celebrations and discuss differences in groups.				Group discussions		
第13回	Western winter sports culture			Students will discuss Japanese sports culture in groups and learn about Western winter sports cultures.				Presentation Summary Due		
第14回	World Cultural Personal Experiences			Students will learn about the professor's experiences in other cultures around the world.				Class discussion		
第15回	Senior Graduation Research Poster Presentation Attendance			Students must participate in HiroGaku's Senior graduation research poster presentation event for their final class.				Research Paper due by end of semester		
評価方法及び評価基準	Student presentations (content, English accuracy, and presentation style graded using a rubric): (3 X 15 pts: 45pts) 45%; Research paper (10 pages long about a topic of Western Culture; it will be graded on content and English accuracy using a scoring rubric): 35%; Homework, classroom, intercultural collaboration participation, and English Department cultural event participation: 20%									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams. Students may participate in an intercultural collaboration, so a smartphone and computer are required.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible.									

科目名	欧米文学・文化演習 I E		科目ナンバリング	L-ESLI3-44. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	E53038		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 イギリス文化またはイギリス文学の分野において興味が湧く事柄を見つけるヒントとして、関連する文学作品や映画の両方に触れ、キーとなるテーマの見つけ方を指導します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	映画とテキスト両方からイギリス文化の諸相（歴史・階級・ジェンダー等）へのアプローチを行い、自分のテーマを見つける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	Harry Potter の映画鑑賞 1			Harry Potterの映画を観る				鑑賞		
第3回	Harry Potter の映画鑑賞 2			Harry Potterの映画を観る				鑑賞		
第4回	Harry Potter の映画鑑賞 3			Harry Potterの映画を観る、次週の授業における読解のための予習				鑑賞		
第5回	Harry Potterのテキストの読解 1			テキストの読解、イギリスの情景や社会背景の考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第6回	Harry Potterのテキストの読解 2			テキストの読解、ファンタジーについての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第7回	Harry Potterのテキストの読解 3			テキストの読解、魔術・魔法についての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第8回	Harry Potterのテキストの読解 4			テキストの読解、階級についての考察、次週の授業における読解のための予習				読解と解説		
第9回	Harry Potterのテキストの読解 5			テキストの読解、ハリリー・ポッターにおけるメッセージとキリスト教				読解と解説、レポート		
第10回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第11回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第12回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第13回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第14回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表				発表、質疑応答		
第15回	まとめ			これまでの内容の総復習、発表時のフィードバックを踏まえたうえでのレポート作成				解説		
評価方法及び評価基準	授業への参加態度10%、発表30%、レポート60% (30%×2) イギリス文学や映画の鑑賞を通して、自分の関心事を見つけ、その事柄に関して自分の意見を展開できる力を身につけること。									
課題等	第1回目のレポートは、第1原稿にフィードバックを与えるので、再度書き直してもらう。 第2回目のレポートは発表時のフィードバックを踏まえて作成してもらう。レポートは後日返却する。									
事前事後学修	テキスト読解のための予習、レポート作成のための復習、レポート作成のための構成準備、週あたりの学習時間目安：約3時間									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	欧米文学・文化演習 I F		科目ナンバリング	L-ESL13-45. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	E53039		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>イギリス文化またはイギリス文学の分野において興味が湧く事柄を見つけるヒントとして、関連する文学作品や映画の両方に触れ、キーとなるテーマの見つけ方を指導します。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	映画とテキスト両方からイギリス文化の諸相（歴史・階級・ジェンダー等）へのアプローチを行い、自分のテーマを見つける。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	『不思議の国のアリス』、 『鏡の国のアリス』の映画鑑賞 1			映画鑑賞				鑑賞		
第3回	『不思議の国のアリス』、 『鏡の国のアリス』の映画鑑賞 2			映画鑑賞				鑑賞		
第4回	『不思議の国のアリス』、 『鏡の国のアリス』の映画鑑賞 3			映画鑑賞				鑑賞		
第5回	テキストの読解 1			作品を通して見るイギリスの歴史・社会の考察 1				読解と解説		
第6回	テキストの読解 2			作品を通して見るイギリスの歴史・社会の考察 2				読解と解説		
第7回	テキストの読解 3			作品における言語感覚 1				読解と解説		
第8回	テキストの読解 4			作品における言語感覚 2				読解と解説		
第9回	テキストの読解 5			作品における言語感覚 3				読解と解説、 レポート		
第10回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表(パワーポイント活用)				発表、質疑応答		
第11回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表(パワーポイント活用)				発表、質疑応答		
第12回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表(パワーポイント活用)				発表、質疑応答		
第13回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表(パワーポイント活用)				発表、質疑応答		
第14回	各自発表			自分で選んだテーマを掘り下げ発表(パワーポイント活用)				発表、質疑応答		
第15回	まとめ			これまでの内容の総復習、発表時のフィードバックを踏まえたうえでのレポート作成				解説		
評価方法及び評価基準	<p>授業への参加態度10%、発表30%、レポート60% (30%×2)</p> <p>イギリス文学や映画の鑑賞を通して、自分の関心事を見つけ、その事柄に関して自分の意見を展開できる力を身につけること。</p>									
課題等	<p>第1回目のレポートは、第1原稿にフィードバックを与えるので、再度書き直してもらう。</p> <p>第2回目のレポートは発表時のフィードバックを踏まえて作成してもらう。レポートは後日返却する。</p>									
事前事後学修	<p>テキスト読解のための予習、レポート作成のための復習、レポート作成のための構成準備、</p> <p>週あたりの学習時間目安：約3時間</p>									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡA		科目ナンバリング	L-ESLI4-60.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E53040		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 各自の興味に応じてアメリカ文化について、文献を集め、発表原稿を作成し、口頭発表をする。口頭発表の技術を身につける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	発表者はプレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。また、発表を聴く側は、発表に対して妥当な質問が出来るような力が身に付く。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		発表担当の割当。							
第2回	学生の口頭発表		口頭発表(1回目)							
第3回	学生の口頭発表		口頭発表(2回目)							
第4回	学生の口頭発表		口頭発表(3回目)							
第5回	学生の口頭発表		口頭発表(4回目)							
第6回	学生の口頭発表		口頭発表(5回目)							
第7回	学生の口頭発表		口頭発表(6回目)							
第8回	学生の口頭発表		口頭発表(7回目)							
第9回	学生の口頭発表		口頭発表(8回目)							
第10回	学生の口頭発表		口頭発表(9回目)							
第11回	学生の口頭発表		口頭発表(10回目)							
第12回	学生の口頭発表		口頭発表(11回目)							
第13回	学生の口頭発表		口頭発表(12回目)							
第14回	学生の口頭発表		口頭発表(13回目)							
第15回	学生の口頭発表		口頭発表(14回目)							
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート(60%)及び平常点評価(40%)。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	笹田直人他編著『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）(ISBN978-4-623-06771-8)									
留意 点	スーツを着用し参加すること。453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡB		科目ナンバリング	L-ESLI4-61.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E53041		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 各自の興味に応じてアメリカ文化について、文献を集め、発表原稿を作成し、口頭発表をする。口頭発表の技術を身につける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	発表者はプレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。また、発表を聴く側は、発表に対して妥当な質問が出来るような力が身に付く。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	学生の口頭発表			口頭発表(1回目)				プレゼンテーション		
第2回	学生の口頭発表			口頭発表(2回目)				プレゼンテーション		
第3回	学生の口頭発表			口頭発表(3回目)				プレゼンテーション		
第4回	学生の口頭発表			口頭発表(4回目)				プレゼンテーション		
第5回	学生の口頭発表			口頭発表(5回目)				プレゼンテーション		
第6回	学生の口頭発表			口頭発表(6回目)				プレゼンテーション		
第7回	学生の口頭発表			口頭発表(7回目)				プレゼンテーション		
第8回	学生の口頭発表			口頭発表(8回目)				プレゼンテーション		
第9回	学生の口頭発表			口頭発表(9回目)				プレゼンテーション		
第10回	学生の口頭発表			口頭発表(10回目)				プレゼンテーション		
第11回	学生の口頭発表			口頭発表(11回目)				プレゼンテーション		
第12回	学生の口頭発表			口頭発表(12回目)				プレゼンテーション		
第13回	学生の口頭発表			口頭発表(13回目)				プレゼンテーション		
第14回	学生の口頭発表			口頭発表(14回目)				プレゼンテーション		
第15回	学生の口頭発表			口頭発表(15回目)				プレゼンテーション		
評価 方法 及び 評価 基準	2/3以上の出席者につき、レポート(60%)及び平常点評価(40%)。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題 等	課題は次時間に返却する。									
事前 事後 学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材 教科書 参考書	笹田直人他編著『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）(ISBN978-4-623-06771-8)									
留意 点	スーツを着用し参加すること。453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡC		科目ナンバリング	L-ESLI4-62. S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E53042		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore western cultural ideas and differences in-depth through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and prepare to write their graduation thesis.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	This course gives students the chance to deeply research and fully explore a chosen topic related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives and approaches to research and thesis writing.				Group discussions		
第2回	Review of research methods			Students will refresh their understanding of research methods through group discussions.				Group discussions		
第3回	Discussion of graduation research topics			Students will brainstorm their graduation research topics as a class to refine the topic of their graduation thesis and create a thesis outline.				Brainstorming Sheet		
第4回	Student research topic presentations			Students will present their graduation research topic to the class including the chapter topics they will explore.				Thesis outline due		
第5回	Student research plan presentations			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research plan presentation		
第6回	Finding appropriate resources			Students will discuss how to find quality resources to support their research papers.				Research Plan Update		
第7回	Student research presentations 1			Students will present an update to their research topic. Professor will provide format for resource list.				Research Plan Update		
第8回	Student research presentations 2			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Resource List due		
第9回	Student research presentations 3			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第10回	Student research presentations 4			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Notetaking Update		
第11回	Research paper introduction writing			Students will learn what is required for the introduction of their research thesis, to include thesis statement writing.				Notetaking Update		
第12回	Student research presentations 5			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Thesis Statement Worksheet due		
第13回	Research paper chapter styles			Students will learn how to format the chapters in their research thesis.				Thesis Introduction due		
第14回	Graduation research status update			Students will present their research methods to include their ideas for chapter topics.				Research method Presentation		
第15回	Feedback and conclusions			Students will review their research progress thus far and make plans for future research.				Thesis 1st Chapter draft due		
評価 方法 及び 評価 基準	Presentations and Research paper draft (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 40%; Milestone documents (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric where appropriate): 30%. Homework, classroom, and English Department cultural event participation: 30%									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting absences.									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡD		科目ナンバリング	L-ESLI4-63.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E53043		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】 This seminar will provide students opportunities to explore western cultural ideas and differences in-depth through research, discussion, and presentation. The goal is to help students understand research methods and prepare to write their graduation thesis. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達 目標	This course gives students the chance to deeply research and fully explore a chosen topic related to cultural comparisons between western and Japanese cultures. Students should be prepared to do individual and group work, online research, presentations in English, and to participate in discussions about cultural topics.									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction and Orientation			Instructor explains course objectives and reviews approaches to research and thesis writing discussed in spring semester.				First Draft of Research Paper		
第2回	Student research topic presentations			Students will present an update of their graduation research to the class including the chapters they are exploring.				Research Progress Presentation		
第3回	Student research presentations 1			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第4回	Creating charts / tables			Students will review how to make charts and tables in their thesis				Group discussions		
第5回	Student research presentations 2			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第6回	Research paper conclusion writing			Students will learn how to write a conclusion to the research paper to be included in the second draft of their paper.				Research Status Update		
第7回	Student research presentations 3			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第8回	Student research presentations 4			Students will present their second draft of their paper and explain their plans for continued research with the class.				Second Draft of Research Paper		
第9回	Student research presentations 5			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第10回	Research paper Works Cited list			Students will review how to draft a properly formatted Works Cited list and practice in-text citations.				Research Status Update		
第11回	Student research presentations 6			Students will present an update to their research topic and discuss challenges they are experiencing with the class.				Research Status Update		
第12回	Research paper submission			Students will submit their final research paper.				Research Paper		
第13回	Oral interview explanation and practice			Students will learn how to do an oral interview and practice presenting their research paper.				Research Paper Summary due		
第14回	Academic Poster Creation			Students will learn about & create a poster about their graduation research for the English Dept. Poster Pres.				Group discussions		
第15回	Poster Presentation			Students must attend the Graduation Research Poster Presentation event and give their poster presentation				Poster Presentation		
評価 方法 及び 評価 基準	Presentations and Research paper (will be graded on content and English language accuracy according to a rubric): 50%; Research poster presentation (will be graded on information and English language accuracy according to a rubric) and participation in the English Department Graduation Thesis poster presentation session: 20%; Homework, classroom participation: 20%; Research summary (graded on content and English language accuracy according to rubric): 10%.									
課題 等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前 事後 学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材 教科書 参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and a computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意 点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting absences.									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡE		科目ナンバリング	L-ESLI4-64.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	前期
			科目コード	E53044		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 イギリス文化またはイギリス文学の分野において、興味を唆られるトピックとその関連資料を見つけ、徹底的に分析・考察し、発表をしてもらいます。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>関心事をしっかりと定め、関係資料を見つける作業ができる。キーとなる資料を徹底的に分析し、その分野に関する全体的な知識と自分の問題点を明らかにする。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修				備考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	トピックの絞り方1			トピックを絞る作業を行う				解説		
第3回	トピックの絞り方2			トピックを絞る作業を行い、トピックセンテンスを考える				解説と実践		
第4回	参考資料の見つけ方			関連の資料を探す				解説と実践		
第5回	参考の利用の仕方			資料を賛否両サイドから読む姿勢を学ぶ				解説		
第6回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第7回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第8回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第9回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第10回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第11回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第12回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第13回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第14回	各自の発表			選んだトピックを展開させて発表				発表		
第15回	Summary			全体のまとめ				まとめ		
評価方法及び評価基準	<p>問題点をはっきり見つけ、ポイントが絞れた発表ができるかをはかる。発表60%、レポート40%</p>									
課題等	<p>各自の発表の際にフィードバックを行うので、それをふまえてレポートを作成すること。レポートは後日返却する。</p>									
事前事後学修	<p>発表の授業、レポートの作成などで週あたりの学習時間3時間以上</p>									
教材教科書参考書	<p>プリント配布</p>									
留意点	<p>teamsを併用して課題を課すこともあります。</p>									

科目名	欧米文学・文化演習ⅡF		科目ナンバリング	L-ESLI4-65.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	E53045		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 イギリス文化またはイギリス文学の分野において、興味を唆られるトピックとその関連資料を見つけ、徹底的に分析・考察し、発表をしてもらいます。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>関心事をしっかりと定め、関係資料を見つける作業ができる。キーとなる資料を徹底的に分析し、その分野に関する全体的な知識と自分の問題点を明らかにする。□</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	Introduction			授業の進め方の説明				ガイダンス		
第2回	トピックの絞り方1			ブレインストームなどの方法を使ってトピックを絞る。				解説と実践		
第3回	トピックの絞り方2			トピックについてトピックセンテンスを考える。				解説と実践		
第4回	論の展開の仕方1			トピックセンテンスに肉付けを行い論を展開させる。				解説と実践		
第5回	論の展開の仕方2			トピックセンテンスに肉付けを行い論を展開させる。				解説と実践		
第6回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第7回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第8回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第9回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第10回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第11回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第12回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第13回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第14回	各自の発表			自分の選んだテーマについての発表				発表		
第15回	Summary			全体のまとめ				まとめ		
評価方法及び評価基準	問題点をはっきり見つけ、ポイントが絞れた発表ができるかをはかる。発表60%、レポート40%									
課題等	各自の発表の際にフィードバックを行うので、それをふまえてレポートを作成すること。レポートは後日返却する。									
事前事後学修	発表の授業、レポートの作成などで週あたりの学習時間3時間以上									
教材教科書参考書	プリント配布									
留意点	teamsを併用して課題を課すこともあります。									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41409		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	川浪 亜弥子			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 トピックの見つけ方、参考資料の見つけ方、レポート作成の技術を学びます。その後、各自それぞれのトピックを見つけ、中間発表や教師とのやりとりを経て、論文の完成を目指します。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>大学での勉学を通して学んだ事、自分の関心事の中から独自のトピックをきちんと絞り込み、自らの意見を展開させた論文を書く。□</p>									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考			
第1回	Introduction	授業の進め方説明		第16回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第2回	トピックの絞り込み	トピックを考える。		第17回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第3回	トピックの絞り込み	トピックセンテンスを考える。		第18回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第4回	資料収集	関係資料の探し方と収集		第19回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第5回	資料収集	関係資料の探し方と収集		第20回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第6回	アウトラインの作成	アウトラインの作成		第21回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第7回	アウトラインの作成	アウトラインの作成と添削		第22回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第8回	アウトラインの作成	アウトラインの推敲		第23回	論文作成指導	ボディの部分のフィードバック、発表				
第9回	論の肉付け	論の展開を考えながら、肉付け		第24回	論文作成指導	結論部分のフィードバック				
第10回	論の肉付け	論の展開を考えながら、肉付け		第25回	論文作成指導	参考文献の書き方指導				
第11回	章の構成	各章の構成の仕方の説明		第26回	論文作成指導	全体の推敲				
第12回	章の構成	各章の構成の仕方の説明		第27回	論文作成指導	全体の推敲				
第13回	引用の仕方	引用の仕方の説明を実例を見ながら説明		第28回	論文作成指導	全体の推敲				
第14回	引用の仕方	引用の仕方の説明を実例を見ながら説明		第29回	論文作成指導	全体の推敲				
第15回	論文作成指導	文章化し、暫定のイントロダクション提出		第30回	論文作成指導	まとめ				
評価方法及び評価基準	<p>発表20%、卒業論文80% しっかりとした情報を踏まえた上で、自分の意見を展開した論文を完成することができたかどうかを図る。</p>									
課題等	<p>論文の段階的な執筆と推敲を繰り返してもらいます。</p>									
事前事後学修	<p>資料収集、資料分析、論文構成、論文遂行などで週あたりの学習時間3時間以上</p>									
教材教科書参考書	<p>適宜紹介します。</p>									
留意点	<p>なし</p>									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41408		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	齋藤 章吾			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>自分の研究テーマに関連する先行研究を踏まえ研究課題を明確にし、その研究課題への答えを導き出すための調査を行う。また、その調査結果を適切な形でまとめる。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>									
到達目標	自分の研究テーマに関して調査したことを卒業論文としてまとめる。									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）	備考			
第1回	オリエンテーション	卒業論文の執筆過程について確認する		第16回	オリエンテーション	卒業論文の執筆過程について確認する				
第2回	テーマ	動機や目標を明確にしなが卒業論文のテーマについて考える		第17回	論文執筆	個別指導				
第3回	文献収集	文献収集を行う		第18回	ピアチェック<本論1>	互いの原稿を読み、内容や形式をチェックする	議論			
第4回	文献の検討	収集した文献を報告し、文献や文献の調査方針が適切か検討する		第19回	論文執筆	個別指導				
第5回	研究課題	研究課題について考える		第20回	ピアチェック<本論2>	互いの原稿を読み、内容や形式をチェックする	議論			
第6回	文献のまとめ(1)	調査文献を発表し、賛否に関する意見をやりとりする	発表・議論	第21回	論文執筆	個別指導				
第7回	論文の構成、執筆法	卒業論文の構成(序論・本論・結論など)や執筆法について学ぶ		第22回	ピアチェック<本論3>	互いの原稿を読み、内容や形式をチェックする	議論			
第8回	文献のまとめ(2)	調査文献を発表し、賛否に関する意見をやりとりする	発表・議論	第23回	論文執筆	個別指導				
第9回	議論の型	発表資料を用いて、卒業論文の議論の型について考える。		第24回	ピアチェック<序論、結論>	互いの原稿を読み、内容や形式をチェックする	議論			
第10回	文献のまとめ(3)	調査文献を発表し、賛否に関する意見をやりとりする	発表・議論	第25回	論文執筆	個別指導				
第11回	フォーマット	卒業論文のフォーマットに従って執筆の練習をする		第26回	ピアチェック<Synopsis、引用>	互いの原稿を読み、内容や形式をチェックする	議論			
第12回	文献のまとめ(4)	調査文献を発表し、賛否に関する意見をやりとりする	発表・議論	第27回	最終確認	卒業論文の最終確認をする。				
第13回	引用について	文献の引用について学ぶ		第28回	ポスター	卒業論文ポスターの準備をする				
第14回	文献のまとめ(5)	調査文献を発表し、賛否に関する意見をやりとりする	発表・議論	第29回	口頭試問準備	口頭試問の準備をする				
第15回	前期まとめ	卒業論文のOutlineを発表する		第30回	後期まとめ	卒業研究の振り返りをする				
評価方法及び評価基準	卒業論文80%、発表20% 関連する先行研究を踏まえながら自分の研究課題を明確にし、十分な調査のもと論理的に自分の意見を形成し、かつ、それを適切に表現できているかを評価する。									
課題等	論文執筆過程全般にわたり指導を受けながら完成させる。									
事前事後学修	授業時間外でも論文執筆に必要な準備を行うこと。									
教材教科書参考書	授業内で指示する。プリント配布。									
留意点	クラスの実態に応じて授業内容等を変更することがある。授業中の指示に従うこと。									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41407		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	佐藤 和博			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>アイデアのある論文をどのように書くか？その方法を学ぶ。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>自分の思いついたアイデアを、いかに他人に説得的に伝えるか？その技術を身につける。プレゼンテーションツールを用いて短時間で分かりやすい発表をできるようになる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	
第1回	オリエンテーション	発表割当		プレゼン	第16回	学生の口頭発表	口頭発表（15回目）		プレゼン	
第2回	学生の口頭発表	口頭発表（1回目）		プレゼン	第17回	学生の口頭発表	口頭発表（16回目）		プレゼン	
第3回	学生の口頭発表	口頭発表（2回目）		プレゼン	第18回	学生の口頭発表	口頭発表（17回目）		プレゼン	
第4回	学生の口頭発表	口頭発表（3回目）		プレゼン	第19回	学生の口頭発表	口頭発表（18回目）		プレゼン	
第5回	学生の口頭発表	口頭発表（4回目）		プレゼン	第20回	学生の口頭発表	口頭発表（19回目）		プレゼン	
第6回	学生の口頭発表	口頭発表（5回目）		プレゼン	第21回	学生の口頭発表	口頭発表（20回目）		プレゼン	
第7回	学生の口頭発表	口頭発表（6回目）		プレゼン	第22回	学生の口頭発表	口頭発表（21回目）		プレゼン	
第8回	学生の口頭発表	口頭発表（7回目）		プレゼン	第23回	学生の口頭発表	口頭発表（22回目）		プレゼン	
第9回	学生の口頭発表	口頭発表（8回目）		プレゼン	第24回	学生の口頭発表	口頭発表（23回目）		プレゼン	
第10回	学生の口頭発表	口頭発表（9回目）		プレゼン	第25回	学生の口頭発表	口頭発表（24回目）		プレゼン	
第11回	学生の口頭発表	口頭発表（10回目）		プレゼン	第26回	学生の口頭発表	口頭発表（25回目）		プレゼン	
第12回	学生の口頭発表	口頭発表（11回目）		プレゼン	第27回	学生の口頭発表	口頭発表（26回目）		プレゼン	
第13回	学生の口頭発表	口頭発表（12回目）		プレゼン	第28回	学生の口頭発表	口頭発表（27回目）		プレゼン	
第14回	学生の口頭発表	口頭発表（13回目）		プレゼン	第29回	学生の口頭発表	口頭発表（28回目）		プレゼン	
第15回	学生の口頭発表	口頭発表（14回目）		プレゼン	第30回	学生の口頭発表	口頭発表（29回目）		プレゼン	
評価方法及び評価基準	2/3以上の出席者につき、レポート（60%）及び平常点評価（40%）。定期試験なし。レポートの評価基準：論理性、独創性。									
課題等	課題は次時間に返却する。									
事前事後学修	準備学習時間の目安：1日あたり60分									
教材教科書参考書	笹田直人他編著『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房）（ISBN978-4-623-06771-8）									
留意点	スーツを着用し参加すること。453研究室 オフィスアワー：木11:10～12:40 発表者は、事前に発表原稿のチェックを受けること。									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年
			科目コード	E41410		60時間				
区分	専門教育科目	必修	担当者名	エドワード・フォーサイス			授業 形態	演習	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 This graduation thesis seminar will guide students through writing their graduation theses. Students will be expected to gather the necessary materials, resources and data needed to research and write an original graduation thesis in accordance with university guidelines. 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-2に関連している。</p>									
到達目標	The 1st term focuses on getting students acclimated to researching and writing their graduation theses. Students will be asked to make presentations to the other seminar members of this class in the form of progress reports, outlining their research and data. The 2nd term focuses on presenting students' research and completing the written thesis.									
授 業 計 画										
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）		備考	
第1回	Course Orientation	Introduction of course objectives and thesis writing methods			第16回	Research update	Students will provide an update on their research		Oral update	
第2回	Review Sempai Theses	Students will review sempai theses to see what will be expected of them		Groupwork	第17回	Peer feedback	Students will practice giving peer feedback		Thesis 1st Draft	
第3回	Brainstorming topics	Students will brainstorm and refine their thesis topics		Groupwork	第18回	Creating charts / tables	Students will review how to make charts and tables in their thesis			
第4回	Outline presentations	Students will present their thesis outline to the class		Presentation	第19回	Research update	Students will provide an update on their research		Groupwork	
第5回	Using Internet Research	Students will review appropriate research methods		Groupwork	第20回	Research update	Students will provide an update on their research		Thesis 2nd Draft	
第6回	Taking notes	Students will learn notetaking strategies			第21回	Writing Thesis Conclusions	Students will learn how to write the conclusion to their thesis		Groupwork	
第7回	Revising the Outline	Students will revise their thesis outline		Thesis outline due	第22回	Research update	Students will provide an update on their research		Groupwork	
第8回	Citing sources	Students will review how to cite research sources in theses		Groupwork	第23回	Research update	Students will provide an update on their research		Revised Thesis	
第9回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research		Oral update	第24回	Research update	Students will provide an update on their research		Revised Thesis	
第10回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research		Oral update	第25回	Making Works Cited lists	Students will review how to create a Works Cited for their research paper		Groupwork	
第11回	Thesis statements	Students will review writing thesis statements		Oral update	第26回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis		Revised Thesis	
第12回	Discussion of research topics	Students will discuss their thesis statements and provide an update on their research		Thesis statement due	第27回	Thesis submission	Students will submit their theses.		Final thesis	
第13回	Thesis chapter writing styles	Students will review the formatting and writing style of thesis chapters		Oral update	第28回	Feedback and review	Students will receive feedback from their advisor			
第14回	Research update	Students will provide an update on their research		Oral update	第29回	Thesis Poster Presentations	Students will do poster presentations about their graduation thesis research.		Poster Presentation	
第15回	Thesis writing processes	Students will discuss their plans for continuing research; Thesis Chapter 1 draft due		Chap 1 draft due	第30回	Oral Interviews	Students will have an oral interview with 2 faculty members about their thesis research		Oral Interview	
評価方法及び評価基準	Theses must be written in English based on original research. Final grades are determined as follows: 80% on the thesis (will be graded on MLA format, research, organization, synthesis, and documentation according to a rubric), and 20% on weekly presentations/assignments.									
課題等	Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.									
事前事後学修	Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.									
教材教科書参考書	There is no assigned textbook; the professor will provide handouts and materials. Students must have access to a smartphone and a computer for classroom activities, reviewing materials and submitting assignments via Teams.									
留意点	Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible, especially for job-hunting absences.									

科目名	卒業論文		科目ナンバリング	L-ESTH4-60. E	単位数 時間	4単位	対象 学年	4年	開講 学期	通年	
			科目コード	E41411		60時間					
区分	専門教育科目	必修	担当者名	スティーブン・マックウィニー			授業 形態	演習	単独		
授業の概要等	<p>【授業の主旨】</p> <p>This graduation thesis seminar will prepare students to write their graduation theses. Students will be expected to gather the necessary materials, resources and data needed to research and write an original and satisfactory graduation thesis in accordance with university guidelines.</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの4に関連し、カリキュラムポリシーの4-1に関連している。</p>										
到達目標	<p>The first term focuses on getting students acclimated to researching and writing their graduation theses. Students will be asked to make presentations to the other seminar members of this class in the form of "progress reports," outlining their research and data. The second term focuses on presenting students' research and completing the written thesis.</p>										
授 業 計 画											
回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）			備考	回	主 題	授業内容（授業時間外の学修を含む）			備考
第1回	Course Orientation	Introduction of course objectives and thesis writing methods				第16回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update
第2回	Review Sempai Theses	Students will review sempai theses to see what will be expected of them			Groupwork	第17回	Peer feedback	Students will practice giving peer feedback			Thesis 1st Draft
第3回	Topic presentation	Students will discuss and refine their graduation research topics			Groupwork	第18回	Creating charts / tables	Students will review how to make charts and tables in their thesis			
第4回	Using Internet Research	Students will review appropriate research methods			Groupwork	第19回	Peer feedback	Students will give and receive peer feedback on their theses			Groupwork
第5回	Thesis statements	Students will review writing thesis statements			List of resources	第20回	Research update	Students will provide an update on their research			Thesis 2nd Draft
第6回	Brainstorming topics	Students will brainstorm and refine their thesis topics			Groupwork	第21回	Research update	Students will provide an update on their research			Groupwork
第7回	Writing an Outline	Students will revise their thesis outline			Thesis outline due	第22回	Peer feedback	Students will give and receive peer feedback on their theses			Groupwork
第8回	Outline presentations	Students will present their final outline to the class			Presentation	第23回	Research update	Students will provide an update on their research			Revised Thesis
第9回	Making Works Cited lists	Students will review how to create a Works Cited for their research paper			Groupwork	第24回	Research update	Students will provide an update on their research			Revised Thesis
第10回	Taking notes	Students will learn notetaking strategies				第25回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis			Revised Thesis
第11回	Discussion of research topics	Students will provide an update on their research			Oral update	第26回	Final draft revisions	Students will finalize their graduation thesis			Revised Thesis
第12回	Citing sources	Students will review how to cite research sources in theses			Groupwork	第27回	Thesis submission	Students will submit their theses.			Final thesis
第13回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update	第28回	Feedback and review	Students will receive feedback from their advisor			
第14回	Research update	Students will provide an update on their research			Oral update	第29回	Thesis Poster Presentations	Students will do poster presentations about their graduation thesis research.			Poster Presentation
第15回	Thesis writing processes	Students will discuss their plans for continuing research: Thesis Introduction due			Thesis introduction	第30回	Feedback and review	Students will discuss what they learned in the research process			
評価方法及び評価基準	<p>Theses must be written in English based on original research. Final grades are determined as follows: 80% on the thesis (will be graded on MLA format, research, organization, synthesis, and documentation according to a rubric), and 20% on weekly presentations/assignments.</p>										
課題等	<p>Missed assignments should be submitted before the following class; the student is responsible for submitting missed assignments. Students will be asked to use their smartphones for class assignments every week.</p>										
事前事後学修	<p>Pre-class reading materials and assignments should be completed and understood before coming to class. Expected preparation time: 30 mins. / day.</p>										
教材教科書参考書	<p>The professor will provide handouts and materials as necessary. Students must have access to a smartphone or notebook computer for classroom activities.</p>										
留意点	<p>Students must attend scheduled classes and must submit drafts and work according to the professor's requirements. Students should inform the professor PRIOR to absences whenever possible. Reports must be submitted in accordance with Hirosaki Gakuin University policies and procedures.</p>										